



名所のいましめ・和歌濱裏

合冊

特別
イ 4
3159
C82



14
3159
C82

名不詰つちの身

わすれさうはしりたるをまはたせよ
しきに袖のうちか人長きぬをさう
こ乃を あまきさう成杉形 夢のこ
とぶらまの袂 梓せんせ くらん
身よりさう 拾うしぬ けりしれ 袂の



三

舟を舟りよる新ひて、
舟りよる舟の舟
舟りよる舟の舟
舟りよる舟の舟
舟りよる舟の舟
舟りよる舟の舟
舟りよる舟の舟
舟りよる舟の舟
舟りよる舟の舟
舟りよる舟の舟

凡例

一、高田八幡、多志寺、ひらき、よき、
初田山、杉系、
ちき、
一山、
系、

多と六昔中川ハ柳山吹陸とよまじりもと山と先
よまじりありし

一山は後山とて河多ありとつよも河も里もどつよ
阿多とよハ初山とて新山とて里川ハ新例なりと
いふと直りてよまじり山とて新山なりハ里川も
阿多とよハ白瀬とて新山とありとよまじり
一やとよまじり新山とて新山とありとよまじり

右三條ハ新山
阿多の庄例

によまじり新山とて新山とありとよまじり
阿多の庄例
一やとよまじり新山とて新山とありとよまじり
阿多の庄例
一やとよまじり新山とて新山とありとよまじり
阿多の庄例

故ありよむれ道ハ此類をのたまふぬ月者ハおよそ
 なるぬもなる道ハ此海にぬきしと月を三つしる所の海
 古来ニもしをるるも一しを此海なるもよく之
 はるそよなる海一を黙々木虫魚などのありおなる
 所あり此海なるも一しを此海なるもよく之
 の事業ニ此をそよとらんハ此海の取りニあり候
 一浦海ニみる海よる海を成此海なる事業をのせしるに

苗代も苗と世に深み素をのそよハ海業このそよ浦
 湖よる海海及ふのそよ深移業の海ありハ苗代海業
 の海ありハ海業の取ハ海なるそよとらん海のそよありん
 月ニ白雲成わそそのそよ素の月とあるおハ左折を考
 上りニ能ありしハ此海に此海持を知らし
 一引ありある京物候ハ此海をぬり多し
 寸金くよそあり候ハ此海に京物とよわそよのそよ物



山 ^一	嶺 ^{廿二}	谷 ^{廿四}	杉 ^{廿四}	坂 ^{廿五}	岡 ^{廿五}
路 ^{廿七}	関 ^{廿八}	森 ^{三十一}	林 ^{三十四}	野 ^{三十五}	原 ^{四十二}
牧 ^{四十四}	田 ^{四十四}	海 ^{四十五}	浦 ^{四十七}	濱 ^{五十三}	湊 ^{五十四}
泻 ^{五十五}	嶋 ^{五十六}	崎 ^{五十九}	泊 ^{六十一}	灘 ^{六十一}	迫門 ^{六十一}
渡 ^{六十二}	淀 ^{六十三}	淵 ^{六十四}	瀬 ^{六十四}	磯 ^{六十四}	沖 ^{六十五}

目錄

よむやうに地のもろいよむに其ははるまゝ
あまう

かうふ江は知者存
しる

岸 六十六 湖 六十六 瀧 六十九 河 七十一 江 八十五 沼 八十七
 澤 八十八 池 八十九 橋 九十一 堤 九十三 井 九十三 水 九十五
 温泉 九十六 都 九十六 郡 九十七 里 九十八 市 百五 驛 百五
 水郷 百五 寺 百七 社 百八 宮 百八 神 百八 園 百十三
 氷室 百十三 隈 百十三 窟 百十三

山

山 山 初年 梅 花 郭 郎 松 葉 藤
 智 志 友島 杖 志の 一 の 房 一 を う す
 滋 い る 水 坂 三 の 橋 三 の 水 一 り 方 五 垣
 い の 水 山 水 無 形 形
 滋 の 水 一 り を す 海 八 移 為 山 七 の 切 跡 強 と 心 を 守 一 守

玉
いさよ山こえをゆきと、都をゆくまのまを、北河内信濃郡

和
い、南山 岩山 一のけい 一のき 橋 都 月

紅糸 麻 くらひ虫 橘衣 扇 宮 棧

松 碓 武 彦 浦 大に岸 町屋 中 三浦

慧の雙人

お
君のいしをみる、成るん伊勢山や、紅降るるふらと

同
けりあふ、やれはらふひのふふ、むの梅枝うらむ

万
いもあふとまよと、垂伊勢ひうちと、くま、紅糸あつ

因
いちえ山 花 花 都 月 麻 雪 杏

古
まおま、いれ、の山、紅糸、に、ま、南、つ、ま、ひ、を、降、り、ん、行、平

奥
いそ山 紅糸 五月 舟 紅糸 時 里 雲

吉本 松 谷 水 谷 水 埋 本 森 岡 里

千 六丁もいそよの山よ事成て折やはてまん後此種本 歌補
 同 人志まぬ後の川乃ぬのまやつをその山よ名の下ぬ 歌照
 但 いそ山 梓らー久つく日ー 新名唱そー 花梅ア
 合 郭の山まきー 兼月時名 岩 落葉 松
 梓らまね事引系ちるにりつるまの山よ歌ぬ川 吉実
 千 夕月板入子の山よ本うままほのうも唱新が 宗家

児 いそ山 せの山よ事くにむる妹の山 せぬ 名 歌葉
 兼 玉き 細谷川 流 すそ野 紀の川
 古 ぢう流そへいもせよ山此中に流るよの河のよ歌 上
 合 いそ山 せの山よ事くにむる妹の山 せぬ 名 歌葉
 旧 いそ山 せの山よ事くにむる妹の山 せぬ 名 歌葉
 新 いそ山 せの山よ事くにむる妹の山 せぬ 名 歌葉

^合いとも山々々人出さぬを羨ましく思ふもよふなき

^山いとも山々々人を油澤さまえう御くおたす縁なり 西川

^山はふ山 榎坂 厚 郭公 寺

^ち又くまの瀬を山とて名をいふよふくまの瀬とや記す 藤原

^和月を花はくまの瀬とて名をいふよふくまの瀬とや記す 藤原

^和たつせ山 厚山舟一と名をいふよふくまの瀬とや記す 藤原

梅 鹿 榎 吟子 郭公 夕立 輝

有 芳 麻 紅葉 月 時 多 昔 曾 雲

松 枝 岩 夕 暮 榎 系 権 柴 昔 唐 古

谷 岨 夕 暮 板 宿 切 くの 山 古 里 川 伏 又

初 涼 女 一の 白 ゆ ぶ ぎ 初 涼 風

^初夕暮は指はくまの瀬初涼山入あはのまは言はくまの瀬 若呂

初床山初古 月夜宿り 八三峠の松系に松風を吹強風は
をたつきの型の筆成と竹也八たつてく小峠の志を定大言
山丹波お探三四名 山大武 小き山 毛さうぬー 砂きぬー 毛さぬー 龍学 志る
岩はし 郭公 蟬 山吹 月 兼 松虫 葛時
雪 松 推の下床 兼の地へ 里
ふむむる 兼 岩の山 志つし つとぬー 何道立すかぬよき人

初床山初古 月夜宿り 八三峠の松系に松風を吹強風は
をたつきの型の筆成と竹也八たつてく小峠の志を定大言
山丹波お探三四名 山大武 小き山 毛さうぬー 砂きぬー 毛さぬー 龍学 志る
岩はし 郭公 蟬 山吹 月 兼 松虫 葛時
雪 松 推の下床 兼の地へ 里
ふむむる 兼 岩の山 志つし つとぬー 何道立すかぬよき人

山 寺相山 阿万のー 鳴神のー 松尾のー 龍宮寺 鹿

紅景 松虫 時多 宮 谷水 葉の星 追飯 川

詰

寺相山をさぐる鳴神の寺のあまの御守の御守なり也 雲々

松尾の御守なり松尾の寺相山なり鳴神の寺なり也 以上

寺と山に御守あり 松尾の寺相山に御守あり 後頼

山 寺相山 大原のー 梅片のー 掛守のー 龍宮寺 花

龍宮 鹿 紅景 月 時多 宮 雲 鷹の寺

炭の寺 神宮寺 御守 中あつち 松尾の寺 龍宮寺

大原の寺 松尾の寺 龍宮寺 龍宮寺 龍宮寺 龍宮寺 龍宮寺

龍宮寺 龍宮寺 龍宮寺 龍宮寺 龍宮寺 龍宮寺 龍宮寺

山 小倉山 龍宮寺のー 寺の御守 龍宮寺の御守 龍宮寺

つし 春月 春風 卯年 卯月 卯日 卯時

又立 蟬 扇 麻 卯年 卯月 卯日 卯時

昔 舊 時 日 官 雪 行 幸 卯年 卯月 卯日 卯時

岩 陰 松 春 門 卯年 卯月 卯日 卯時

卯 夕月 卯年 卯月 卯日 卯時 卯年 卯月 卯日 卯時

卯 卯年 卯月 卯日 卯時 卯年 卯月 卯日 卯時

卯 卯年 卯月 卯日 卯時 卯年 卯月 卯日 卯時

卯 卯年 卯月 卯日 卯時 卯年 卯月 卯日 卯時

卯 卯年 卯月 卯日 卯時 卯年 卯月 卯日 卯時

山田

卯 卯年 卯月 卯日 卯時 卯年 卯月 卯日 卯時

卯 卯年 卯月 卯日 卯時 卯年 卯月 卯日 卯時

高野の山 号 上りて 郭の 松山 此のゆゑに
をたす山 月 龍 榎 卯 吉 新 藤 麻

^右わら心まゝとあつちりし如きを松山又明月山と
上りて

^山うま山 丸まの 鴨の 一 号 榎 榎の 卯 吉 寸まの 一 茶

ひのきの ちり 月 雁 旁 松 虫 紅 糸 家 号

時 多 柳 虫 一 ぬ 松 榎 榎 糸 榎 糸 一 ぬ 榎

みまに 山下

^好榎 榎 卯 吉 寸まの 一 号 榎 榎の 卯 吉 寸まの 一 茶 好 右

^千うま山 乃 丸まの 鴨の 一 号 榎 榎の 卯 吉 寸まの 一 茶 好 右

^山うま山 乃 丸まの 鴨の 一 号 榎 榎の 卯 吉 寸まの 一 茶 好 右

大井河

^右丸の 乃 丸まの 鴨の 一 号 榎 榎の 卯 吉 寸まの 一 茶 好 右

山 山科のー打うはー 部々 有りぬ 康

紅糸 時毎 松

右 有るは、紅糸の山の日も赤い、人の神をさす 赤糸

山 山 龍をも 龍も 又立 接衣 雲 山松の世の

泉河 子う能京

右 都出てけらう能京泉河、泉河、初うもやぬ 赤糸

お 春日山 鹿 梅 花 草 坂 山の麓 部々 有る 鹿

紅葉 月 昔 昔 時毎 雲 松 志 けり

おらう能道 公水 山 有る 有る 有る 有る

後 春を山とせらるる、子も山清あぬ雪のてしゆん 三月

右 万代を初うさうはゆりす、其の山は、おのて、津仲

初 山 春 科のー 桜 姫のー 乙女 有るー 玉うらー 有る

北^勢山 号花友 紅葉 月 時 每 藤 百枝の松
 松の下道 柳 内 外 の 言 志 あり ゆ かり 芳 ゆ かり
 川 すす 河 三 重 なる 川
 芳^勢 月 紅葉 時 毎 藤 葉 好 の 海
 芳^勢 月 紅葉 時 毎 藤 葉 好 の 海
 芳^勢 月 紅葉 時 毎 藤 葉 好 の 海

北^勢 山 号 花 友 紅 葉 月 時 每 藤 百 枝 の 松
 松 の 下 道 柳 内 外 の 言 志 あり ゆ かり 芳 ゆ かり
 川 すす 河 三 重 なる 川
 芳^勢 月 紅葉 時 毎 藤 葉 好 の 海
 芳^勢 月 紅葉 時 毎 藤 葉 好 の 海
 芳^勢 月 紅葉 時 毎 藤 葉 好 の 海

えん

右 三ノ里ハヤク山ノ名ヲ號シ一日ヨリ者ヤル銀一石

目 三ノ里ノ山乃リヨリニ宿ルル其ノ山ノ影ヨリ見

目 三ノ里ノ山乃リヨリニ宿ルル其ノ山ノ影ヨリ見

右 三ノ里ノ山乃リヨリニ宿ルル其ノ山ノ影ヨリ見

三ノ里ノ山乃リヨリニ宿ルル其ノ山ノ影ヨリ見

たつ山 うれしからし 流を曾よるわの机

部 昭村 菅 柞 野 彦 房 厚 麻 月

松 虫 岳 葉 家 野 松 松 青 づら 由 乃 魯

すう 野 葛 の 里 滋 川 うれしき 言 ち

右 三ノ里ノ山乃リヨリニ宿ルル其ノ山ノ影ヨリ見

三ノ里ノ山乃リヨリニ宿ルル其ノ山ノ影ヨリ見

田 諸回山楮^レははふたつ海ふつも麻好うよく
ちるか 後志

和 昔の海山 産考梅 朝々 夜中 五月の月 月夜

月 時 毎 言 括 書

千 今^レの山や昔の山の梅をばねはよおはるとやえん 松の戸

和 今^レの山 梅 柳 月 言 今 時 毎 松 松の戸

昔の洞 谷の扉 曉 夕 夜 松の戸 松の戸

千 今^レの山や昔の山の梅をばねはよおはるとやえん 松の戸

和 今^レの山 梅 柳 月 言 今 時 毎 松 松の戸

今^レの山 梅 柳 月 言 今 時 毎 松 松の戸

今^レの山 梅 柳 月 言 今 時 毎 松 松の戸

今^レの山 梅 柳 月 言 今 時 毎 松 松の戸

和 今^レの山 梅 柳 月 言 今 時 毎 松 松の戸

神守山 木の枝 所の福 部を 紅葉 月 時 松

千 日 神守山 紅葉 秋 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉

常 山 紅葉 部を 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉

常谷 紅葉の松 すう紅葉田井

つたぬの紅葉の 紅葉の 紅葉の 紅葉の 紅葉の

紅葉の 紅葉の 紅葉の 紅葉の 紅葉の 紅葉の

紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山

紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山

紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山

紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山

紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山

紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山 紅葉の山

持 十のうらうら山のうらはまのうらうら山のうらはまのうらうら山のうら

乃ちせ山 橋 部 月 宮 山の雅宗

うらうら山のうらはまのうらうら山のうらはまのうらうら山のうら 知家

大内山大内山 中中 部 月 宮 山の雅宗

智松

人志人志はまのうらうら山のうらはまのうらうら山のうらはまのうらうら山のうら 知政

大原山大原山の 橋 康 部 月 時 宮 山の雅宗

さく 粟 市 宗 勝 清水 八 瀬 山 神 野

後 於 大原山大原山のうらうら山のうらはまのうらうら山のうらはまのうらうら山のうら

同 同 壺 野 山 部 月 部 月 宮 山の雅宗

野

大原山大原山のうらうら山のうらはまのうらうら山のうらはまのうらうら山のうら 文補

大原山大原山 壺 野 山 部 月 宮 山の雅宗

山 麻呂宮 権 さとうら 丁 揚立 いくの
 山 龍 瑞 郭 子 西 月 多 月 紅葉 すの志の也
 つ 龍 を ち

同 山 梅 揚 つし 郭 子 月 麻 卯 柔

古 房 世 節 也 落 葉 松 谷 北 垣 木 業 也 慧 の へ

梅 の せん 句 小 集 へ へ へ 山 也 へ へ へ 山 也 へ へ へ 山 也 へ へ へ
 同 山 梅 郭 月 卯 柔 雪 松 の へ へ へ 山 也 へ へ へ

林 卯 ち 升 山 揚 卯 柔 月 を ま して 着 う へ 山 考

揚 山 小 へ へ 郭 子 月 麻 揚 葉 山 川

伏 見 山 有 麻 鶴 鳴 揚 衣 房 萩 松 藤 の 揚 子 治

卯 三 山 松 の 陰 書 を み 月 せ へ へ へ へ へ 回 面 へ 松 凡 を せ へ へ 後 成
 卯 三 山 三 國 を さ へ 流 入 へ 愛 田 宇 浦 へ へ へ 浮 島

是 う へ 川 す を 望

山 卯 け 山 柳 揚 卯 子 一 里 関 有

妙山の山行の 曲居 こと並平 紫車 桂系

あり山 荒梯 赤音 朝云 月 松虫 紅葉 麻 芳

時每 藤系 豊 滋おのり 寺おのり 藤の里 大井川

桂の里

桂日 赤人はなもをいけの山 凡おのり人おのりの史おのりの史おのりをいけ

朝山 樞おのり 卯おのり 夕おのり 月 紅葉 時毎 芳

宮 松 すと珍 藤の里 伏尺田井 寺池

和新 蘇新を八新字新の海新寄新らもてりてりおのりおのり 公実

五のわ山 荒梯 朝云 五月 月 麻 紅葉 柳

富山 八新字の古柳新らもてりてりおのりおのり 後

五月 月 朝 紅葉 西の川系 無系

志新らもてりてりおのりおのり 山々寄新らもてりてり

あり山 紫根の山 荒 朝云 麻 紅葉 月 時毎 豊

枚新のらもてりてりおのりおのり 八重山 関 清見 不二 深雲

柳坂山 荒草 梅香 紅くどり うつろ 舊 喜虫

お糸 燕 音 雪 杖 ちりやの 靴 船 ちり 石 清水

色江の 酒 志 咲 浦 あちり 野

^古いづれをいふ 柳坂山 荒草 梅香 紅くどり うつろ 舊 喜虫

^日わさくさい 柳坂山の 音の 音 柳坂山 荒草 梅香 紅くどり うつろ 舊 喜虫

^千あちり 野 柳坂山 荒草 梅香 紅くどり うつろ 舊 喜虫

^{あちり}あちり 野 柳坂山 荒草 梅香 紅くどり うつろ 舊 喜虫

^新矢田の 柳坂山 荒草 梅香 紅くどり うつろ 舊 喜虫

^おさほ山 荒草 梅香 紅くどり うつろ 舊 喜虫

お糸 芳 柳坂山の 音 柳坂山 荒草 梅香 紅くどり うつろ 舊 喜虫

西木の 音

^古信保山の 柳坂山 荒草 梅香 紅くどり うつろ 舊 喜虫

^おさう 柳坂山 荒草 梅香 紅くどり うつろ 舊 喜虫

岩うの 床 お糸の 里

千 檜目すね木のち家の袖も又時ある物り七知の巾山 足井
は 七知の山 文鏡如おを檜山とも 藤 持衣 寂市等の麻衣

里寺

和 月影あうみうも巾の山の懸まきぬきるん 貫之
お系 山 花 鹿 喜 毎 敷 郭 五月毎 厚月 常 麻
お系 時 雨 雪 松 檜 杉 楸 榎 玄 柱 何々の玉垣
町 佐保川 藤と 柏木杜 山の井

万 いたむとらうまの山は山若のやうなや、とん新し竹す八

金 いうらむと神あうまととま山二島の松の毎のくさけ 因坊田代

千 五の下のくまの山も也柳葉のまの山より 神あ毎 法橋

之和 檜山 くの志山 くの神山 香玉 郭の麻 杉村

神板 宮本引 杉山 大より 持衣 くの山

後 古の力の山の海を 厚月八板の月名 神くも なる すと

新板 ありし切らるる山うたてておんまもを 常板まう川 高島院 大浦

^和とろろ山 神垣のー神まのーまろくんーおる如ー 梅

梅 部云 五月節 麻 紅葉 尾を 月 雪

岩よりけ ちま 松 枚 枹 柵 朱の 垣 くら

神まの川 立田河

^{おち}神まののまの山まの草うらうらへんふ寸林のまはり ぬ指

^梅とれせ心 花 顔云 麻 日 松 鈴 尾 長 鈴 玄 珍 川 里

^梅とろせ山まのまののしあや林の 麻の 後なる 人 はらふ ちを

^ちとろ山 老若のーさの 神まーぬ 紅葉 梅月 時

雲 枚 やまの 志 坂 坊 庵

^梅ちまのまの山まの林まのまのまのまの末の世りてま 梅雪

とろろ山 紅葉 麻 紅葉 時

^梅とろろ山 ぬ指 神まの 楓の 楓の 楓の 楓の はらふ ちを

とろろ山 一の山 一の山 一の山 はらふ ちを

紅葉 雲 雪 時 楓のま 松 梅 至

^合 影... 雲... ぬき、あ... 松の... 山... 松... ぬ... 山
^合 影... 雲... ぬき、あ... 松の... 山... 松... ぬ... 山
^合 影... 雲... ぬき、あ... 松の... 山... 松... ぬ... 山
^合 影... 雲... ぬき、あ... 松の... 山... 松... ぬ... 山

とま... 昔... 乃... 麻... 松... 時... 松...
 昔... 乃... 麻... 松... 時... 松...
 昔... 乃... 麻... 松... 時... 松...
 昔... 乃... 麻... 松... 時... 松...
 昔... 乃... 麻... 松... 時... 松...

小町の山(刺山) 杉の峰行

堀川

六月の月のすき八の月とありて涼き水雲山の乳 乳仲

比先の山 大のやをひき 雲を雪月雪 玄木川 鐘

日 山 よくも 峰 麻 月 柳 松 吉うハ 妻つら

松

林の根乃月を光のちりて、のり後もさるゝりなり 友原まき

すく山 花 鈴公 鈴虫 月 落 柳 桑 宿 町 吉川 国 輝

すく山 せおのあまの権衣 塩を年了りてと人知る人 一連り

すく山 花 鈴公 鈴虫 月 雪

おきん 赤松山 かけと ぼるをぬき、よるやのり 赤松

嶺

和 一、二の峰 上を山あり

同 一、二の峰

古 立わつまの山を峰よりさるゝりて吉川を降りえ 新字

道美の海

新

あふと、ふと、ふとのうきよきし、しと、しと、あふさるるに、あふ

あふと、ふとのうきよきし、しと、しと、あふさるるに、あふ

子 雲 木石のこころ

風は、あふと、ふとのうきよきし、しと、しと、あふさるるに、あふ

よりのうきよきし、しと、しと、あふさるるに、あふ

よりのうきよきし、しと、しと、あふさるるに、あふ

新

あふと、ふとのうきよきし、しと、しと、あふさるるに、あふ

あふと、ふとのうきよきし、しと、しと、あふさるるに、あふ

あふと、ふとのうきよきし、しと、しと、あふさるるに、あふ

あふと、ふとのうきよきし、しと、しと、あふさるるに、あふ

昔野 ささの川

あふと、ふとのうきよきし、しと、しと、あふさるるに、あふ

松

泉 かつらの松を麻 ほうき 後 雪

^{新勅} 宮本ひくわ松松よは氏氏のや山の時ちくちくあきまきも 人丸

^和 しの松 川上の 枯松 びき人 ^{ひとい}

^玉 松人乃をぬ松えさう松 子生の川系の五月をのころ 言四

とち木の松をのころあー言者あーか びき月麻 宮塚

^金 逢ふ月と人もすまぬわあや朽木松の宮ま理木 松柳

みおの松 言者あー横 五月る 月麻 雪 松

結 松 きれり川 山 浦

^{新勅} 言時やまおの松山松よは氏氏のや山の時ちくちくあきまきも 人丸

あきり松の松一の松の松よは氏氏のや山の時ちくちくあきまきも 人丸

松系 岩 宮 山 松 樽 公 里

松系 宮 山 松 樽 公 里

坂

たうく飯、のて和里都

きさふ之飯、七時子身 都云 紅葉、ふけ梯

園

山、園、寛、雖、や、在、都、云、時、あ、り、目、紅、葉

新古 松杜神、いそぎしーい

都云、お、ろ、ろ、は、は、八、岸、園、の、杜、の、ま、ら、ま、ら、如、也、業、或、ア

山、園、雪、子、日、ゆ、な、梅、橘、蕨、雖、都、云、蕨

麻、乃、出、茅、於、虫、雪、於、松、の、下、紫、衣、之、時

山、小、町、あ、の、系

山、お、ろ、ろ、ま、て、石、を、鳴、ら、る、う、園、の、お、の、系、お、ろ、ろ、あ、ん、よ、い、ん

たう、ひ、の、系、を、す、と、れ、つ、し、呼、蘇、紅、葉、日、う、ら、ら、也

時、有、雪、松、小、毎、系、ふ、り、ま、さ、ら、神

風、を、い、た、な、し、ひ、の、園、の、初、お、系、林、を、あ、り、ゆ、き、下、あ、り、ふ、は、言、た

たう、の、園、在、あ、り、最、様、梅、よ、ら、る、都、云、紅、葉

麻きり特言 藤かろや さび着いれぬ杜
^石 井多みの里路の杜名 都るな野一の園にいつふ影ん 田原重
^武 びりの園 友季 桑 紅葉 月常 官 今守 松
^秋 じゆ 然すりの園の原な航はねと原はもては氣さう 小町
^山 やかの園 若津一 秋系 権 玉さし 時毎
^同 紅子や かの園は若き系をいつふ海を程きるん 伊克
 舟園 子百 じりな 藤 外毛 持 廿年 秋系 松

二二

御幸 山 祈

^格 舟園の妙中よそるを多影一は身をぬかぬ 和志 小主人
^和 ゆきと岡 柳 散 花 一し 影 公 能 舊 萩 菊
^秋 けり ぬ 秋系 時 毎 雪 小 遊 系 公
^秋 けり ぬ 川 狩 多 きの 園 の 杜 萩 八 系 小 遊 多 子 ち ら づ ね 見 小 主人
^水 水 多 きの 萩 梅 五月 毎 久 立 額 公 昔 原 松 古 麻
 月 一 一 下 葉 系 湖 草 雪 笠 田 湊

二二

右 此董乃園の如くは妹とあまをねるの歌の歌れり

玉 乃の字の字なるは董の園に董大をのまはり人見

興 上の小乃園 蕪は一一 節の 唐をまきて 昔月

昔 山 杜 浦 京 屋

陸 河と成まのふれ園のまを照し里のまを月をかけはる 中野

融

山 ちよのちよ 子日 われ 夜草 卯桑 宮 松

さう 移

好 山 山のふのふき路 芥河のちよの古道 詠みありり 年

山 山のふのふき路 古道 卯花 暮子 月 萩 雪

山 山 紫 暮子 山 里

子 山 山のふのふき路 芥河のちよの古道 詠みありり 年

旅 山 山のふのふき路

山 山のふのふき路 芥河のちよの古道 詠みありり 年

夢の中さ 山ありき 月ありき 董 友季 山ありき

清水 つみぎ水 初瀬山

関

武 かつまの関 龍を 呼ぶ音 鷹

新 清子より多のまといえ 東海の家を 守るも 善なる 守り手

具 ちのちの関 龍 橋 守る音 橋 松島 山ありき 山ありき

好 立よ、八彩 山ありき 守る音 龍を 守るも 善なる 守り手

ふ八の岸 関山 花 龍 守 新 龍 出 龍 素 時 留

家 野上 守 守

新 人すむぬふたは 関山の 橋を 守り 龍を 守るも 善なる 守り手

山 ちのちの関 龍 柳 橋 山 里 川 関 守

子 妻を 守るも 善なる 守り手 龍を 守るも 善なる 守り手

お 山ありき 龍 月 音 切 如 白 川 山 守 守

富士

18
 皇柄の山は園地をゆくをききもききぬ
 古 志野
 あふ坂の園 花をきき 松よき 松よき 松よき
 岩 堂 清水 園水 松よき 園水 松よき 松よき
 園のわしや 雲の川 雲山 雲山
 古
 うつこきておひも初るを飯久のあまきりな
 新十
 十いえては後七のちいふは逢坂の園地
 後法
 清尺の園 花をきき 松よき 松よき 松よき
 松系

池の園地 写 崎 之 係の崎 川 雲の山

磯山

19
 松よすは松のさきもや松よすは松の園にすあり月を
 松 松
 横けしは松のさきの海邊へはとよきと松よきと
 松
 松の園 松よき 松よき 松よき 松よき
 松
 松よき 松よき 松よき 松よき 松よき

千
もろのまはれおふおふの名をこころわ白川のみ 祝宗

河
忘るしりの國
新語のくろく記述体初めをいつくくへき少理のま 甲斐

左
語 北尋 居月
秋のやふ井の原もとくつ原たむつきの中の國也
すはの國 櫻 新 萩 お 桑 月 吾 松 板 麻

千
山おろし浦傳ひすおまがいつへまき次下の國也 右衛門

後
探人の様すくくたるにたり國次と書おまのくわ 行平

勢
すくけ國 花 唐 吾 解 山

千
おまろに記述めますふ雪をこの國のたけしこれ 四喜

木 林

山
いたきの杜 山科のー山城のー董 雄 新 吾 弘 桑 月

吾 時 吾 遠 飯 山 孫 國

千
孝すのつきのあつお董をこの次計をよまふか 新 吾

いはる杜 非るの一学 野々 坪 細涼月 松葉 麻

時 杉 石 山 秋 田 河 なる 岡

^合 々々々々、空の杜 乙女 冬 花 春 夏 秋 冬
^括 けきあが 松 葉 松 葉 松 葉 月 時 雪 雪
^初 君すり、^{同奥三日月} かの秋の国のはらの杜乃林の初を

信老 法眼

^{後子} いかくの杜 松 葉 松 葉 松 葉 松 葉
いかくの杜 松 葉 松 葉 松 葉 松 葉

因基

けろれ杜 春山の一 時 雪 松 葉 月 時 雪

弁のま 泉川

^日 いんか月 日向 時 雪 松 葉 杜 松 葉 松 葉 松 葉
^好 泉川

けろの杜 郭 雪

^山 どの杜 雪 松 葉 松 葉 松 葉 松 葉 松 葉
どの杜 雪 松 葉 松 葉 松 葉 松 葉 松 葉

月 雪 松 葉 松 葉

新 志 年 月 日 深 入 山 林 之 中 乃 松 之 下 八 結 因
か 山 田 之 社 郭 々 輝 々 記 載 月 時 有 号

新 志 志 年 月 日 入 山 林 之 中 乃 松 之 下 八 結 因
か 山 田 之 社 郭 々 輝 々 記 載 月 時 有 号

新 志 志 年 月 日 入 山 林 之 中 乃 松 之 下 八 結 因
か 山 田 之 社 郭 々 輝 々 記 載 月 時 有 号

和 河 新 志 山 田 川 田 津 田 社

河 新 志 社 版 郭 々 月 時 有 号 乃 松

松 原 山

新 志 志 年 月 日 入 山 林 之 中 乃 松 之 下 八 結 因

山 新 志 志 年 月 日 入 山 林 之 中 乃 松 之 下 八 結 因

河 新 志 志 年 月 日 入 山 林 之 中 乃 松 之 下 八 結 因

河 新 志 志 年 月 日 入 山 林 之 中 乃 松 之 下 八 結 因

堀 本 志 年 月 日 系

陸奥陸奥八束八束なるよし、おきよふり浮田の杜乃五月菊の以 後
日 大あききの杜大あききの杜 郭郭に 不苗 納涼 葛 麻 紅雲
月 鷹 野

古 杜あききの杜杜あききの杜を手におひぬまハ節もすまふ守の人のし
おひきの杜おひきの杜わかれ雪 花 郭郭に 蜂 紅雲 雪 志の露
山 東海東海のさびきるん時を老る花をさすよとの一、流 三氣
衣衣の杜杜 花 雪 蜂 郭郭に 麻 郭郭に 水 曜 星

續 ちてはてきあふくく 沢原の杜沢原の杜夕日もうすにちまの杜 紅雲

新 ちの杜ちの杜 紅雲 月 時 重 下 雪

新 清わひぬ極小の杜乃系所をうすし杜杜のち原 言家

新 ちの杜ちの杜 うき系の一呼子雪 月 紅雲 郭郭に 蜂 麻 紅雲

新 ちの杜ちの杜 一赤杜梯 呼子雪 郭郭に 蜂 葛 舊 月

新 志の杜志の杜 一赤杜梯 呼子雪 郭郭に 蜂 葛 舊 月

紅葉 雪 毎 ちまの木ちまの木 下 雪

^{新和} 大江山をふくむ麻の女家神宮の事素直なる人言方
^和 いると神宮中萩草花着麻月寸虫着宜
^和 毎拍深茅松清水海川碧
^和 なるまのく藤着るせいのたつ能ふよるゆきあや能量
^和 どのに神やの梅着董冠蕨ひるを卵を
^古 菅萩着麻唐摺松町古
^古 古まのたるとあひの雲を起し見よるつる何れ見らば極人よる人

^和 吉里小神 子日 梅 橘 指 萩 董 新 萩 着 鶯
^和 松虫 有 康 碓 海 位 江 津 古
^{新和} 位よの松の流もや流し是吉江のく吉新何の印の芝居
^山 小野 梅 虫 古 細 語 古 語 涉 茅 着 海 篠 系 山 雲
^古 ぼち中たをの志の系思の人も念うるあつふ人新子
^和 子日 やうな 菅 梅 柳 紫 柳 橘 萩
 新 遊 雉 着 新 山 菅 萩 薄 を 三 処 し 萩

蘭麻 涉茅 青松 垣水 赤火 青くわ
系 杜里神山

^古 其の神ハ云ハ云ヤ兒ハハ云のつら子積聚ハ其ノ
^日 云々云々ハハ云の云々云々云々云々云々云々云々
^同 云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
^{新撰古} 云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
^河 云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

舊葛 萩 桑 月 紅 桑 極 虫 涉茅 鶴
存 麻 芳 鷹 鶴 真 棠 椋 笹 松 水 母 際
天川 淀川 い 海山 里 系 後

^詞 云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
^{新撰古} 云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
^山 云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
里 謬 冬 羽 田 云々云々云々云々云々云々云々云々

湖茅山里

^右 津油つて位へ里と出た所へは、^右 湖茅山里と云ふ
^右 湖茅山里 竹の子 芋 柿 萩 豆 芋 芋
^右 麻 木 柏 杉 茅 高 松 木 水
^右 いまのうみおろしをのりも初を此に心へて種はくふ
^右 湖茅山里の 竹の子 芋 柿 芋 柿 芋 芋
^右 萩 芋 月 のり 和 麻 芋 芋 芋 芋 芋 芋

三十一

長水山澤田橋社湖系三編

^右 石上少の中流なる子足すを悉くとせば、^右 八
^右 守 神 一の志 玉 芋 芋 一の 花 蓆 芋 芋 虫 居
^右 一の 大 蛇 萩 芋 芋 蓆 芋 柿 芋 新 麻 芋 芋
^右 一の 理 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋
^右 蓆 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋 芋
^右 湖茅山野 竹の子 芋 柿 芋 芋 芋 芋 芋 芋

四十一

おきく 忘水 沼

石 信の江に湖澤をの 括みきぬふくやけきんは形も 世

あふ錦 ^山 錦の ^山 錦の 錦の 錦の 錦の 錦の 錦の 錦の 錦の

高 月 鶴 高 藤 高 藤 高 藤 高 藤 高 藤

高 董 杜 系 淋 田 の 長 檜 志 の 山 哉 扱 扱

山 何 ^山 海 の すくろに 藤 つの め、冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬

山 治 山 藤 山 藤 山 藤 山 藤 山 藤 山 藤 山 藤 山 藤

山 月 約 小 鷹 鴉 毎 脚 幸 房 小 倉 寺

^拾 山 行 の 以 自 介 人 の 介 以 以 以 以 以 以 以 以

^同 山 一 野 上 野 の わ れ 様 扱 各 柳 蛙 以 以 以 以

山 久 凱 月 橋 下 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山

山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山

山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山

山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山

和 公より地 とうん山里に出

比く人々なるそやねるより形松を多体よまうけり 元圃

奥 物き種 雑 郭公 せり 葉 萩 菊 菊 菊の

ぬ命を 松虫 郭 麻 接衣 岩 松 地書房 木下

か ともうしひみまというせま城の木の下にあり

比くま将 子日 萩 麻 岩 甲子 ぬ 池 茅

持備のうへ けり とうん浦に出

原

山 志 郭公 菅 松虫 麻 層 輪 月 菊

堂 店

古 ありあけ山の上の志 郭公 郭公 人 知りぬる今 不

山 不 郭公 なるし 麻 山 紅 葉 月 菊 志 茅 けき

山 不 郭公 なるし 山 志 郭公 志 茅

長月 つきのあけ 志 郭公 志 茅 志 茅 志 茅 志 茅

右 昔もそてるを唱物うの國の都の京八の都の如くん 右 手
あつた京 よき名物に出

山乃京 逢橋 松 都の京 兼月 兼山

久遠の都 泉川 都の京

右 都の京 泉川 河風さし 衣の世山 右 人

和 都の京 衣の世山 梅柳 山吹 花鳥 都の京

都の京 衣の世山 梅柳 山吹 花鳥 都の京

月 清 茅 重 持 人

後 持 人 衣の世山 梅柳 山吹 花鳥 都の京

具 衣の世山 梅柳 山吹 花鳥 都の京

衣の世山 梅柳 山吹 花鳥 都の京

衣の世山 梅柳 山吹 花鳥 都の京

牧

甲 ぼくらの牧 鹿 豹 種 坂の豹 世帯を

十^法あり牧 ^奥あり牧 ^比きり原の牧

山^こう牧之牧 あやめまこも 弱種 後至

山^比中^比より其^比牧乃^比りとも原^比野^比中^比路^比もあり^比さる^比

田

山^小大田 白^比名^比あり^比わ^比る^比 雪^比在^比部^比云^比 早^比苗^比月

有^比龍^比麻^比 揚^比衣^比鴨^比 鶴^比山^比松^比 大江^比山^比里

山^比大^比江^比山^比の^比音^比少^比風^比比^比於^比て^比は^比け^比の^比面^比小^比お^比つ^比る^比子^比 並^比園

山^比大^比江^比山^比の^比音^比少^比風^比比^比於^比て^比は^比け^比の^比面^比小^比お^比つ^比る^比子^比 並^比園

山^比大^比江^比山^比の^比音^比少^比風^比比^比於^比て^比は^比け^比の^比面^比小^比お^比つ^比る^比子^比 並^比園

山^比大^比江^比山^比の^比音^比少^比風^比比^比於^比て^比は^比け^比の^比面^比小^比お^比つ^比る^比子^比 並^比園

山^比大^比江^比山^比の^比音^比少^比風^比比^比於^比て^比は^比け^比の^比面^比小^比お^比つ^比る^比子^比 並^比園

山^比大^比江^比山^比の^比音^比少^比風^比比^比於^比て^比は^比け^比の^比面^比小^比お^比つ^比る^比子^比 並^比園

山^比大^比江^比山^比の^比音^比少^比風^比比^比於^比て^比は^比け^比の^比面^比小^比お^比つ^比る^比子^比 並^比園

あいのわさ田 花 畦 芳 志 ぬ 三 輪 川 野 里 部 社

あいのわさ田 花 畦 芳 志 ぬ 三 輪 川 野 里 部 社

あいのわさ田 花 畦 芳 志 ぬ 三 輪 川 野 里 部 社

あいのわさ田 花 畦 芳 志 ぬ 三 輪 川 野 里 部 社

あいのわさ田 花 畦 芳 志 ぬ 三 輪 川 野 里 部 社

あいのわさ田 花 畦 芳 志 ぬ 三 輪 川 野 里 部 社

海

四
五

あいの海 ともなは、は田は海のみれし流しとそせにり 舟 登

いせの海 磯 石 月 舟 素 精 貝 玉 淡 萩 入 江 の 子

淡 甲 小 三 つ 舟 名 柏 いさり 力 舟 火 船 浅 島 島

あ 新 々 系

伊 勢 舟 港 不 船 す ち あ の う へ 舟 名 舟 登 舟 登

いせの海 月 崎 沖 の お 島 船 船

伊 豆 の 海 月 崎 沖 の お 島 船 船

四
五

桔 ^万 万の海 ^な なき ^し し ^り り ^の の海 ^に に ^仲 仲つ ^波 波 ^ち ち ^下 下 ^隠 隠 ^ね ね ^和 和 ^人 人 ^丸 丸
 丹後 ^の の海 ^入 入 ^海 海 ^も も ^虫 虫 ^納 納 ^涼 涼 ^麻 麻 ^月 月 ^夕 夕 ^宮 宮 ^く く ^ら ら ^こ こ ^舟 舟
 志 ^和 和 ^新 新 ^や や ^あ あ ^松 松 ^中 中 ^か か ^浪 浪 ^林 林 ^浪 浪 ^萩 萩 ^阿 阿 ^留 留 ^宮 宮 ^や や
 内 ^御 御 ^流 流 ^て て ^摺 摺 ^立 立
^磯 磯 ^石 石 ^を を ^{なく} なく ^く く ^わ わ ^ん ん ^海 海 ^よ よ ^の の ^海 海 ^に に ^仲 仲 ^つ つ ^波 波 ^ち ち ^下 下 ^隠 隠 ^ね ね ^和 和 ^人 人 ^丸 丸
 な ^に に ^海 海 ^よ よ ^も も ^浦 浦 ^ニ ニ ^出 出
 日 ^な な ^の の ^海 海 ^月 月 ^落 落 ^と と ^行 行 ^る る ^船 船 ^着 着 ^山 山 ^磯 磯 ^浪 浪

^新 新 ^古 古 ^な な ^の の ^海 海 ^に に ^仲 仲 ^つ つ ^波 波 ^ち ち ^下 下 ^隠 隠 ^ね ね ^和 和 ^人 人 ^丸 丸
^裁 裁 ^中 中 ^な な ^の の ^海 海 ^磯 磯 ^菜 菜 ^夕 夕 ^宮 宮 ^月 月 ^柳 柳 ^野 野 ^村 村 ^宮 宮 ^鶴 鶴
 釜 ^釜 釜 ^塩 塩 ^畑 畑 ^貝 貝 ^松 松
^海 海 ^の の ^海 海 ^と と ^わ わ ^る る ^船 船 ^行 行 ^す す ^り り ^に に ^切 切 ^れ れ ^り り ^人 人 ^の の ^舟 舟 ^舟 舟 ^が が ^後 後 ^志 志
^海 海 ^の の ^海 海 ^を を ^そ そ ^ろ ろ ^と と ^宮 宮 ^野 野 ^村 村 ^の の ^宮 宮 ^の の ^宮 宮
^肥 肥 ^お お ^の の ^海 海 ^宮 宮 ^野 野 ^村 村 ^の の ^宮 宮 ^の の ^宮 宮
^中 中 ^の の ^海 海 ^宮 宮 ^野 野 ^村 村 ^の の ^宮 宮

柳 川の海 よる名浦ニ出

あさき海 湖ニ 多々 忘負物

紀 海の海 いまな月 綱沖つとさうらの浦

振 海の海 よる名浦ニ出

浦

振 くの浦 かくるる男浦に立たり涼不敵身打ぬれん

勢 くの浦 いせ名島一磯菜月 あめのと磯

千 くの浦 一志能浦の河たもろろぬ村ハぬがたのハ 送月序

肥前 くの浦 多々 島

はね くの浦 に流るる之屋等にて居たりても多し 送月

紀 くの浦 多々 萩月 多々 松原 中ノ

貝 釣亦 多々 入江 埋木

新古 くの浦 や月能切かゝる深きにはる浅きのおを止さ 送月

下端 くの浦 多々 月

新公萩雁月宮子多鴨都鳥鶴貝
雞波舟共合也舟 阿比多 共火寺と也 と依法に
とやあも山住者 伴約山 法証京 都 之津田 美時
左 寺てらやあも山とふやと捨のうしくも我妻守ふ上人 之は
日 雞波沼 游ととしくし 阿比衣寺と共公山とふ崎 浦と 書と
同 なるるの浦 月 小多 芦 鴨 松 伴 海 濱
同 なるるの浦 月 康 小多 宮 持 衣 松 竹 ぬ 入 江

核 樹そく崎屋の浦のありんを渡り衣了ぬ 貝見
同 なるたの浦 磯山 揚 持衣 釣舟 海松 塩焼
同 なるたの浦 玉七 阿比 小多 鶴 月 釣舟 ぬ 入 江
玉 竹の所 崎 住者 共 也
勢 なるたの浦 月 龍 あやあ 浦 後 居 小書 鶴 松
貝 考 下

大庄の松たけうたけも何かに似てのまじり原がしり
おふの浦 楊麻の 楊 梨おふの 野々考
橋麻のおふの 飯立よりみまも何守山のを 後
ふの浦 昔も 雪 濱東 貝 松 磯 兼 山 玄
ふの浦 沖津風一を月 乃 千 智 松 鶴 すきつ
芦 野々考

千 さいのちとをいぬ飯の浦にきつすかゆふ月
ふの浦 葉 月 共 智 貝 塔 や いせ
おふの浦 飯 乃 月 のあ 雪 松 入 海
おふの浦 磯 山 楊 雪 乃 乃 ありの舟と火 塔 や
おふの舟 紀 伊 の 幸 山 むのう 龍
芦の如きすの塔やいし山とつたれ山 松も 野々考

あその浦 子香 貝 赤花 杜里

^をあその浦の何よりいふかといふは 雅光

あその浦 新の量 康 紅葉 月 子香 雪 松

鶴 昔くもの烟 くと縄 せと 鶴 次 子 田

^松よとよに ぬる浦の松系、海神を 赤とととと 為忠

^{新古}はくくと せと何よりいふかといふは 子香

^松あその浦 大よの梅 花 月 紅葉 接衣 子香 雪

芦 貝 松 古の やく 鶴 伴 弱 漢
湊 堀江

^松雅光の浦の何よりいふかといふは 子香

^同あその浦 子香 康 貝 玉 子香 雪 松

^松あその浦の何よりいふかといふは 子香

^松あその浦の何よりいふかといふは 子香

あその浦 月 子香 何と

いせの湊 常月 宿湊萩

子 あり 船萩とよしの湊萩おききえ妹幸しはら月か 甚後

島 舟の湊 ちと金 鶴 磯 直松 志砂地 佐右里

紀 ながさの湊 子日 冬雪 貝 官也 松 木 浦

泉 おきき紅湊 節々月 雪 鶴 網

振 おしき紅湊 住吉の 神地や 松 里の

紀 吹上紅湊 梅 野 葉 月 雪 宮 松 貝 志砂

古 林の木の明たしそる白葉かうあわぬ海の子すう 若草

駿 くの木の湊 高崎の 子雪 松 貝 湊 萩

駿 浜松今かゝるの湊 林の 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

振 くの木の湊 大徳の 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

同 すまの木の湊 林の おの 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

湊

筑 袖の湊 松浦の 常月 冬雪 七乃 舟

新勅
 こき倫ら神の湊はあま夜里は志るも流るなりし 歌
 新勅
 おぢの湊 麻日雁 中智 鶴松 山海 神
 千
 うねりまわふそ湊不中ゆ麻神はあま守家如松尾 神信
 新勅
 中ら湊 節云 麻日 萩 中智 宮 新勅
 紀伊の志山
 新勅
 この國を由らぬ湊は松をふたふらふに不違ふなり 古才
 新勅
 うねり湊 くら名浦ニ出

水葦の岡の湊 新勅 水葦の岡の湊は波の上に敷きすまゆ 神原 古才
 新勅
 志るすまゆ湊 新勅 松蔭の入海は白草の湊はすまゆ 杖の志山 古才
 新勅
 ひらけ湊 新勅 おゆら山おろしそそ波のひらけ湊は 古才
 新勅
 いんぎ活 新勅 智 中かひ 志山
 新勅
 つまきと人ふらふ波は足厚相そや記はひらふ 古才
 新勅
 けさ海馬 日 智 松

あゝ川 月 巻 鶴 古抄地 三つ

入江の松 之の松系 頼 彦彦浦ニ出

なほに生活おろすか 休るにせぬれは 我らとぬる 豊

かきら 月 集示 子鳥 雲 ありし 雨を 都る

鶴 阿の宮や 貝 淡楸 浦の浮語 上卿のこ

さよををたふふく 晴海深うとく月 海にぬる 暮能

あつら 月 兼 はよあふ ちう

さよふあ

ふき 子日 集示 月 淡楸

あゝ 川 彦彦合浦ニ出

あゝ 川 日

あゝ 川 月 子鳥 阿ま 汝干

あゝ 川 月 兼 野 巻 鶴 せよの遊凡 止留

任去 浦 島

あゝ 川 月 兼 野 巻 鶴 せよの遊凡 止留

駿 清足沼 磯山梅 菴 月 雪 鳥 鶴 之 浦

唐京の松 富士 関崎 沼の宮寺

清足沼園より寺にて新舟八流のまゝ木葉に今記 実牙 寺々沼 存 月 寺 宮 菴 寺 中 年

嶋

いせ島 月 寺 寺 貝 演 萩 芦 竹 石 寺 系
の 浦 紀 の 海

伊勢崎やりの浦北のりきまのりぬ神のぬの六 送因

一の島 月 寺 寺 七 船 舟 二 船 寺 中 一 船 寺

若手船中へ見へ船 姉の島うらまの浦に輪を引力 今記

をる島 梅 雁 松 系 月 寺 島 松 ありありと 録 号

官也

松島名好名山の時にありし寺 ありし寺はかへ八海に 寺

の 八島 ありし月 寺 寺 寺 寺 寺 湊 入江

五十八

子 君子の志を告ぐの意は川原の水の口を流るる如し
山 横林と名出 々々舟は自ら人楫の如く山原の山原をよし人
舟 舟の如く名出 舟月菊香松 芳吟香 管座
紀 龍谷の濃き香くしわを教りての吟子 勢有たる
玉 玉津島一山 妻嶽 勢有 月 千香 松 勢 後
 湯草 和の勢浦 入に字
後 玉津島より入江をくく舟はうたも世も我守るなり 是也

下 勢の如く名出 同 之を、奥は名もとるべきまじはりの烟もたも
標 之標のたつ勢 月 千香 雪 松 遊楽
後 ありて無しはるやん 海國に々も何事か酒の神啓 戒仙法
真 龍谷山 後河内名を 塔のめまに浮る一 世 勢 千香
丹 丹 水辺一月 貝 玉了を 浦島の子
後 勢 堂 千香 菴 ありて無し 勢 吟

五十八

但者 難波 浪ノ 浦 沼 也

^古 竹ノ 葉 所 不 少 也 白 州 の 沼 也 由 乎 何 處 也 一 斗

^新 あり 是 あり と 是 多 事 月 結 玉 兒 之 長 八 所 之 日 初 恒

^侯 竹 田 楊 柳 葉 月 十 百 重 松 節 丹 柳 川 舟

あり 昭 名 磯 浦 崎

^新 湊 山 之 丘 之 吹 埜 風 不 結 玉 兒 松 之 波 也 あり 久

崎

^橋 竹 之 崎 新 月 松 節 丹 柳 川 舟

入 江 也 之 浦 牛 意

父 子 之 以 竹 葉 之 所 結 玉 兒 之 長 八 所 之 日 初 恒

^淡 あり 是 あり 淡 沼 也 有 葉 之 一 也 あり 葉 松 節

あり 是 あり 也 也

^千 濁 之 七 八 叶 之 葉 之 崎 之 葉 あり 葉 之 沼 之 葉 あり 葉 之 松

同 霧 蒼 萩 子 香 淡

^ああうの灘 ^よよき屋浦ニ出

^ああのかた離 ^其其のやが灘の陸地、^ととる程つゝあはれ也 ^書書

迫門

^ああうと ^ああはれ一 ^水水鏡 ^書書 ^貝貝物舟 ^ううき子あはれ

法政名

^後あうと ^ああはれし ^水水鏡 ^書書 ^舟舟 ^ううき子あはれ ^海海

^ああはれと ^ああはれし ^水水鏡 ^書書 ^舟舟 ^ううき子あはれ ^海海

法政名

^ああうの灘 ^よよき屋浦ニ出

^ああはれと ^ああはれし ^水水鏡 ^書書 ^舟舟 ^ううき子あはれ ^海海

^ああはれと ^ああはれし ^水水鏡 ^書書 ^舟舟 ^ううき子あはれ ^海海

^ああはれと ^ああはれし ^水水鏡 ^書書 ^舟舟 ^ううき子あはれ ^海海

^ああはれと ^ああはれし ^水水鏡 ^書書 ^舟舟 ^ううき子あはれ ^海海

^ああはれと ^ああはれし ^水水鏡 ^書書 ^舟舟 ^ううき子あはれ ^海海

渡

^山よりの後 よき川に出

^北より河に渡りゆく人 船のつちやのりてゆく人 舟を

^河うちの河 舟を川に出

^河舟の後 ^北舟の中 舟の渡のつちやのりてゆく人 舟を

^和舟の渡 月言 舟を

^百舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人

^山みづの河 里地津神社

^後舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人

^三舟のりてゆく人 舟のりてゆく人

^北舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人 舟のりてゆく人

^北舟のりてゆく人 舟のりてゆく人

淀

^山よりの河に出

山吹の瀬 山吹 石 枕 檜姫

おた 山吹の瀬 石 枕 檜姫 西園寺

すい 山吹の瀬 石 枕 檜姫 後事

磯

お 磯 松島 磯 磯山 磯月 磯島

お 磯 松島 磯 磯山 磯月 磯島

初事 松島 磯 磯山 磯月 磯島

古 ありき磯 磯 磯山 磯月 磯島

甲 ありき磯 磯 磯山 磯月 磯島

古 堀の山 堀の磯 堀の磯山 堀の磯月 堀の磯島

古 堀の山 堀の磯 堀の磯山 堀の磯月 堀の磯島

沖

古 沖 沖 沖 沖 沖 沖 沖 沖 沖 沖

古 沖 沖 沖 沖 沖 沖 沖 沖 沖 沖

^同おの沖 月 ちま 松 麻 菅 い 海 柳 園 石
^手けふておののうの山 柳もさう 松 木 沖 ちあはし 言家
^尾のうま 沖 ^{磯子}きりきり 磯と ぬおん 上 柳 鳴 海 柳 園 龍 龍
^何の沖 づか見よ 高 柳 磯 沖 柳 園 龍 龍
^瀬乃 沖 住吉 沖 柳 園 龍 龍
^子はま 沖 おのの沖 柳 園 龍 龍
^腹おのの沖 浦 河 山

^新おの 柳 園 龍 龍
^柳の沖 柳 園 龍 龍
^柳の沖 柳 園 龍 龍
^山の沖 柳 園 龍 龍
^和の沖 柳 園 龍 龍
^山の沖 柳 園 龍 龍
^柳の沖 柳 園 龍 龍
^柳の沖 柳 園 龍 龍
^柳の沖 柳 園 龍 龍
^柳の沖 柳 園 龍 龍
^柳の沖 柳 園 龍 龍

大はの山岸 好 やめ也大はの岸にやうしるも 好
和 じろ好岸 巨樹 山吹 ねり 翠 娘 山 祿
於 祿まのしん好岸也 嶺 人 高の川 此水のほろ 草書
標 信吉の岸 梅 嶺 山吹 卯 部 月 荻 葉
冬書 重 長 貞 茅 招 長 原 岸 四 冬書 浦
冬書 いと 浦 人 担 以 好 人 信 吉 好 岸 上 冬 書 貞 貞 貞 貞

湖

かつ 浦 柳 部 云 柳 祿 月 柳 葉 松 鶴 綱 浪 江 江
千 月 祿 在 浦 ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね
同 の 岸 乃 浦 乃 浦 乃 浦 乃 浦 乃 浦 乃 浦 乃 浦 乃 浦
冬書 志 願
同 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
同 の 浦 乃 浦 乃 浦 乃 浦 乃 浦 乃 浦 乃 浦 乃 浦 乃 浦

同日 浦 月 ありおき 松 綱引 伴吹

とせりし心

秋は金ちかしく風を引てとせりし心はせしり 松綱

同日 月 麻 重 松 幸 沖 あり 三尾

同日 その後 唐衣一麻 葉 重 鳩 吉砂地 鳩の浦 舟

志賀 瀬田

同日 入の海へ水とく 龍向波の打出は清く暮風を引く 兼氏

同日 神島 一の崎 一の浦 五葉の一 萩原 舊 月 考 雪

五七 哲人

同日 あり新島 神島より 松が唐衣 唐衣をく 神島 浦 あり

同日 おわねを 唐 持 衣 重 松 あり 人 漁火 入舟

浦 浪 比 良

同日 あり 浦 あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり

同日 あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり

尾花鴨 宜ちる 葛 芦 沖の海彦 松船

幸崎 法良

徳島撰 以ておれすは 松花如きもの重よの浦人初うめさる 下味

内 うつきの岡 葛 菫 菫 月 平苗 笠 岡のりう

新抄 紅葦の宮に法良の波の上の敷き捲く之はさる前子 素選

内 志うは浦 芝 千手 わり水 量 部 月 法後 局

千名 書 之海き 松 網 いろふ船 納すうあま

芦 鳩 年 之八 五の事 橋泊 濱 板飯山

沖の少島 打世法 法良 坊う山 三上山 うみ山

後抄 濱海 志の津 都 志園 里 志の志山 志

後抄 七よあさうに いろねあさうん 志ううるうの 志の浦波 性記

内 以て法良 藤花 月 志智 志 志新 志の 都

新抄 志のゆけ八山おるまてさ 志のゆけは法良 志の志の志の 志の志

新抄 志の浦 板 松 部 志 早苗 味 入江

紀 高野の階 菅 卯花

詞 高野の階 菅 卯花

山 高野の山

高野の山 高野の山 高野の山 高野の山 高野の山

高野の山 高野の山 高野の山 高野の山 高野の山

高野の山 高野の山 高野の山 高野の山 高野の山

高野の山 高野の山 高野の山 高野の山 高野の山

七十一

河 高野の階 高野の階 高野の階 高野の階 高野の階

高野の階 高野の階 高野の階 高野の階 高野の階

高野の階 高野の階 高野の階 高野の階 高野の階

高野の階 高野の階 高野の階 高野の階 高野の階

高野の階 高野の階 高野の階 高野の階 高野の階

高野の階 高野の階 高野の階 高野の階 高野の階

七十一

海浦杜里山

千
忘わぬちあの下流お終まらに生田の川より名 真経

務
いす河やうし物一梅浦被 藤月 紅系 松

新古
玄祖 岩根 志しり一 甘の岩波 瑞の玄 神波山

神風和す河流新し吹す身も身清せにまろん 云建

古
いぬるまね床の山好し おん川 志しり一 新古 せのうら考

いぬるまね床の山好し おん川 志しり一 新古 せのうら考

いづぬき川 村方奥の一月雪 千名 新古

新古
一志の代をうら 兼代うきぬき いらぬき河好新の老らる 志経

和
七世河好の川 山吹 山

和
いも路のなむく せむはきく 是れ我い 志しり一 人志

和
けり世河もい河 梅花 柳 柳 白つー 接衣

月 井くお 白ゆふ 粘 粘 竹 二 柳 粘 杖

志しり一 志しり一 波 岸の 志 接衣 山 里 志

右 初瀬川古河のふもとに本あり秋連して又おひるに市あり
日 あり川一の川系川流 月 雲 雉 鴨 鳩 矢 松 杉

右 結流守山 三浦山等ハ

右 此寺の格よりそふ丹生此河とて道と舟を直取 彦彦

山 右 松川 月 松 杉 松 流

右 右 松川 月 松 杉 松 流 彦彦

右 右 松川 月 松 杉 松 流

右 右 松川 月 松 杉 松 流

右 右 松川 月 松 杉 松 流

右 右 松川 月 松 杉 松 流

右 右 松川 月 松 杉 松 流

右 右 松川 月 松 杉 松 流

右 右 松川 月 松 杉 松 流

右 右 松川 月 松 杉 松 流

山
カモ河

野の羽川 せよあはれも

柳 燕 花 藤 卯 花 菜

夜 被 月 宮 子 智 由 乃 守 身 海 社 中 一

結 語 標 之 由 身 之 守 身 社 山 社

凡 行 幸 せ 川 原 崎 之 守 身 社 待 あり づ 由 守

山 あり 神 の 月 影 之 守 身 社 之 原 野 の 風 為 成

信 守 標 之 守 身 社 之 原 野 の 風 為 成

同
う 野 川

久 乃 中

柳 野 之 原 野 社 月

小 結 七 瀬 の 屋 桂 の 宿 楠 河 大 井 河

右 久 乃 中 野 川 之 原 野 社 之 原 野 社 月

和 名 之 守 身 社 之 原 野 社 之 原 野 社 月

蛙 山 吹 野 社 之 原 野 社 月

岩 洞 山 岡 津 田 社 神 里

山 蛙 乃 川 之 原 野 社 之 原 野 社 月

山 柳 あり 乃 野 川 之 原 野 社 月

山 野川の ありの川 名を橋 河を以神 山吹 蛙 漢

野川 うき原 丹子の石帯 山田

約とめて 狂水の峰 山吹花の影をふりての玉川 後平

卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

山川至杜岩の社 邪多山 三宅

古 立田川紅葉より身天流るる山海は縁やや路えん よみは

月 舟より河若より流るる邪多山の山より流るる 人磨

月 舟より河若より流るる邪多山の山より流るる 舟之

舟より河若より流るる邪多山の山より流るる 舟之

舟より河若より流るる邪多山の山より流るる

邪多山

新古 梅子丁親若の丸や若きん吹つて本やうの舟よる也 陸信

新古 梅柳花月 梅柳花月 梅柳花月

新古 舟より河若より流るる邪多山の山より流るる

新古 舟より河若より流るる邪多山の山より流るる

新古 舟より河若より流るる邪多山の山より流るる

新古 舟より河若より流るる邪多山の山より流るる

和 かつら川 かわり橋 菅 蛭 卯 龍 鶴 川 以 下

略 月 三十一の

^{新古} 上 新 古 なる なる 新 古 河 原 不 略 名 山 陰 川 湯 草

色 川 大 上 新 古 山 陰 川 湯 草 湯 草 湯 草

同 花 菅 卯 龍 月 也 新 古 原 堀 木 至

^古 名 新 古 川 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草

和 かつら川 柳 花 蛙 蟾 諧 中 下 湯 草 湯 草

水分山

^{新古} 新 古 川 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草

山 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草

新 古 川 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草

湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草

湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草

^{新古} 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草 湯 草

駿河 河 高 寺 宿 島 系 山 十 五 野

駿河 好 子 系 河 系 日 善 奴 子 知 中 入 宿 島 系 基 奴

興 河 川 管 子 宿 島 系 関

和 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系

和 宿 島 系 梅 芥 蛙 野 宿 島 系 宿 島 系

和 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系

和 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系

七十

古 世 井 八 河 川 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系

新 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系

宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系

古 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系

古 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系

古 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系 宿 島 系

八十

山 山の寺河 社つたを河き遊より 寺 芦 寺の塔木

枯の継橋 あり ところ

五月 水頭より 浮舟 枯木 継橋 うれぬを 正 弘仲

山 柳 夜 山吹 蛙 寺 石 弘景 月 葉

寺 寺 菅 鶴 芦 楸 舟 橋 寺の川 清き川

わき 願 寺 寺の 枝 柳 松 鳥 寺の 寺の

之 笠 山 藤 寺の 山

山 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の

寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の

寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の

寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の

寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の

寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の

寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の 寺の

^古 水乃なる川を流し其の中舟八人其の流に死す時乃
^新 光福川に流す神の朽ぬる波の白くおとす海に 流に
^和 龍よき川系 とうりおし 蛙 螢 友枝 月 香 玉ひふ
^新 むえ海のおのまゝに 樹を流す河系よりなり 鳴也 赤人
^山 きの川 きの香 いま山 きの川に
^山 きの川 きの香 いま山 きの川に
^山 きの川 きの香 いま山 きの川に
 月 香 芥 きの香の袖 山の神 きの香の

大ぬき 白ゆ

^古 水乃なる川を流し其の中舟八人其の流に死す時乃
^和 龍よき川系 とうりおし 蛙 螢 友枝 月 香 玉ひふ
^新 むえ海のおのまゝに 樹を流す河系よりなり 鳴也 赤人
^山 きの川 きの香 いま山 きの川に
^山 きの川 きの香 いま山 きの川に
^山 きの川 きの香 いま山 きの川に
 月 香 芥 きの香の袖 山の神 きの香の

里後

古
 水
 日
 同
 千
 千

津川うま... 津川... 千... 千... 千... 千...

松百枝のー... 松百枝のー... 松百枝のー...

柳... 柳... 柳... 柳...

君の代... 君の代... 君の代... 君の代...

此の河... 此の河... 此の河... 此の河...

雪千智... 雪千智... 雪千智... 雪千智...

古 白川の寺守毎いけに清きなる水とてすんた 貞文

和 比の海川 橋部月 宮 山遊系

古 市の海比に海河部と先老け水之影とて舞

羽 比の川 柳 菅 持子 月 鴨 中智 あり 芦

わささ母 遊 岩の丸 洞 山

古 ちの海河の町まにちぶらふおたつ水とてありて月八

山 せり川 ころな 津指

は ちの海河の町まにちぶらふおたつ水とてありて月八

同 古 ちの海河の町まにちぶらふおたつ水とてありて月八

関の川 美河とて 岩の丸 洞 山

古 ちの海河の町まにちぶらふおたつ水とてありて月八

美河とて 岩の丸 洞 山 伴次

古 ちの海河の町まにちぶらふおたつ水とてありて月八

掃 ちの海河の町まにちぶらふおたつ水とてありて月八

山岡の系 伊勢おの志 祢祢山 山

^新おと親てうふたをぬすう海やまもきぬ所あり 信守

^下すう川 唐崎の一節も 月香も 音 都香 海香

みせき せきやれお 川京 ふうち山 雲やの里

^秋取れききまをり海田川とふ香の名をきりて 津葉

江

^香つるこ細江 香 子香 志葉 之成はく

^子あふとふら水と細江のこまうし 湯ききりし 湯葉たたり 法補

^橋ほろよ江 蛙 蛙 あや免 量 月 鴨 都香 芦

まもも 之成つてー せうせ舟 橋

^古塘に〜ふれしや舟船より甲人あふれぬやをえ 湯葉 古

^旧ほろ江 信守の細江ききりぬつし 湯ききりぬれ 湯葉

^古をの古江 芦 舟 月 松 湊

^後湊に次々流るるしつる海の中やの古江は林の初風 中務

わの浦の入口に今もに名馬の家の浦に入口のわの浦 後成女

うまに 妻約 虫あやあ 月 唇 おろとを

於 芦の舟 舟 もの舟

三島江のわの舟をきぬよりその舟の舟 舟

はた 友の舟 舟 舟の舟 舟 舟の舟 舟

たの江 舟 舟の舟 舟 舟の舟 舟 舟の舟 舟

都 鴨 舟の舟 舟 舟の舟 舟 舟の舟 舟

約 すもも 舟 舟 舟の舟 舟 舟の舟 舟

とを舟くし 貝 松 舟の舟 舟 舟の舟 舟

博 湊 濱 都 寺 灘 里 宮 海 磯

舟 船 江の舟 舟 舟の舟 舟 舟の舟 舟 舟の舟 舟

舟 船 舟の舟 舟 舟の舟 舟 舟の舟 舟 舟の舟 舟

舟 船 舟の舟 舟 舟の舟 舟 舟の舟 舟 舟の舟 舟

山 大井川入江 紅桑 松

すほのの江 日 鷺 忘貝 忘身 経波 雲松系 松浦三ろ海

沼

止 松 うきぬまハ く く 忘水

万 松 うきぬまハ く く 忘水

い 万 松の岩壁沼のそりやに 雲わく く く 人丸

い 日 ちの沼 蛙 量 あやめ く く 忘水 忘身

ま く く 忘水

松 ほうのやつらの沼 く く く く く く

上 松 のちやの沼 く く く く く く

松 あ く く く く く く く く

あ く く く く く く く

千 く く く く く く く く

奥 く く く く く く く く

こころ 鳥の跡 沼

^草 池の園に海に影を映し八重の月を照らす

^和 由孝の海に影を映し八重の月を照らす

^山 比る海 柳 月 松 風

池

^橋 つくしの池 柳 月 松 竹 新 杜

^池 津の園のしほの池乃等と云ふつる池に影を映す人

^下 つくしの池 柳 花 草 竹 萱 船 芦

堤 菊 蓮

は池草なり 水よりとをなす草なり 蓮と云ふ

^草 水より映して草なり つかしの池に影を映す人

^山 大海の池 蛙 萱 月 葉 柳 花 竹 萱 船 芦

^古 一かと思ひし草と大海の池のうらも 蓮のうらも

^和 海すしの池 柳 花 月 萱 竹 柳 花 竹 萱 船 芦

^池 比ぬなりけし海に影を映す人

^橋 石池 蛙 杜若 菖蒲 阿弥 月夜 鴨 鷗

雪 芹 猪名 松系

^{好抄} かみめさよふ種はくさの影ふ池水ういおき来 信正 毛三井

^和 さる海の池 柳 菖蒲 月夜 玉也

^山 比る海の池 塔の柳 木 杜若 萩 月 鴨

葉 香 ねね 萩 岸の松 古羽山

とらま左 廣海の池ふさるひ月影の古羽の山よきの月夜ふさる

橋

^橋 つま乃橋 朽る海とよき 月夜の海邊に

な橋も 空川

^万 といふはつきの橋は初ははかまをひんてん 人丸

^老 大浦は橋 月夜 松 あきの松舟 月夜 小舟

入海 昔々 山川 海浦

^抄 遊る海邊ふた橋ふさる海邊は橋とつげ初え 毛三

後
 うちへりて心は橋のともをにみせりハハ
 まは継程 宮 川をひらき 浦入に
 うへへりて心は橋のともをにみせりハハ
 あふの言橋 宮 滋 川 里 詠 山 野 洋 系 都
 石上あふの言橋よきを月もつて代々流りし人 雅孝
 天は橋立 よきの浦の一宮 都公 厚 亦智
 心あふの言橋よきを月もつて代々流りし人 雅孝

後
 橋立よきの言の浦の一宮 都公 厚 亦智
 心あふの言橋よきを月もつて代々流りし人 雅孝
 天は橋立 よきの浦の一宮 都公 厚 亦智
 心あふの言橋よきを月もつて代々流りし人 雅孝
 橋立よきの言の浦の一宮 都公 厚 亦智
 心あふの言橋よきを月もつて代々流りし人 雅孝
 天は橋立 よきの浦の一宮 都公 厚 亦智
 心あふの言橋よきを月もつて代々流りし人 雅孝

堤

下橋
つづきの池 十 池も昔堤より見水部 なるのわきん 記
泉 泉 於此の堤 續古 於此のよとの堤 なるのわきん 記
山 山 びる海の池 も 唐海の池 も 於此の池 なるのわきん 記

井
けり井 けり うきひの水 川瀬 浄法 坐月 約 於此の
記 記 けり井 後の水 井つ 三水

四

於人幸てもおもしろい蛙鳴ありその井よ山取乃是 標云平如
 あり井 花 管 之 浦 之 井 あり 弱 川 里 都 与
 備云系 あり井にやるといふし社よりいそひをいふ 浦 之 井
 ありの田井 尾 尾 尾 早 苗 つ、た 也
 けいおのりおとをいふ尾をいふ 浦 之 井 尾 子
 水
 い 水 花 友 細 溪 月 祇 松 板 葉 竹 葉

九十五

山あいの程 水はけはあ

^{新千}あつてもやぶすけささ、けのたま人のあし橋、さ家

^正水 夏の清水と

^古あつてもやぶすけ山あいの清水と

わすれぬ 是はわすれぬと、あつてもやぶすけの清水と

なまよとよとよとと程りく、も後一、さあ、さあ、さあ、さあ

^山あつてもやぶすけ 山あいの清水と 山あいの清水と

^{那精}あつてもやぶすけの清水と 山あいの清水と 山あいの清水と

^古あつてもやぶすけの清水と 山あいの清水と 山あいの清水と

^山あつてもやぶすけの清水と 山あいの清水と 山あいの清水と

^{新千}あつてもやぶすけの清水と 山あいの清水と 山あいの清水と

温泉

^与あつてもやぶすけの清水と 山あいの清水と 山あいの清水と

^{あつても}あつてもやぶすけの清水と 山あいの清水と 山あいの清水と

都

古江の都 旧都をよそてうらなふ

丹波の都 南東の津和之 孝徳の都

和歌の都 梅 橘 川 竹 菫 板 都 志保川

小蘇 月 如 桑 尾 島 古 話 高 坂 山

里 玄

古江とが都のちがはぬ都をよそてうらなふ

かまの都 湯 浦 出

陸奥の都 月七 築 代 小 木 都 近 江 沼 古 都 秋 の 都 丹 波

山 都 志保川 都 志保川 丹 波 山 里 川

秋 の 都 丹 波 山 里 川 丹 波 山 里 川

丹 波 山 里 川 丹 波 山 里 川

丹 波 山 里 川

丹 波 山 里 川 丹 波 山 里 川

丹 波 山 里 川 丹 波 山 里 川

おとよね人のつくはに終りては終りのまのよと 兼房

はらせの里 梅 橋衣 山川 寺

うすあともきわはうらやまをくは初郎の口はまの梅く 山 山

はらせの里 一の山まも 玉取 雄 橋衣 約 山 森

秋うよわねを登の里へおき 招きよお秋うら 後 山 山

おとよの里 眉 橋衣 月 つる 魚 山 田 渡 山 山

やあふら 唐の御風ふ月きて 唐相四の里に 衣うつや 山 山

とをち終り 花 橋 好 兼 眉 月 極 紅 糸

橋衣 雲 約 天のうら山 象山 野 池

おとよの里 山 堀 ちうく 月 きて 十 市 終り 衣 ころ 山 山

とや梅の里 橋衣 雲 秋 篠 里 一 番 山

秋の如く山は 終りて 終りて 終りて 終りて 終りて

おとよの里 山 堀 ちうく 月 きて 十 市 終り 衣 ころ

おとよの里 山 堀 ちうく 月 きて 十 市 終り 衣 ころ

^{後古} 時乃と美羽の里をふる橋をたのんたふらふも形一 おきき
^同 小倉山あり 梅 山吹 橘衣 麻月 扇 宮 藤
^{後古} 小倉山すむく、ふるふるきい言をそみよし衣うはゆり 明彦
^同 きのり 梅 介者 あり 麻 宮 扇 山
^中 きのを休うはそきい言をそみよし衣うはゆり 明彦
^同 かつく 小倉山 すむく 梅 柳 梅 介者 扇 郭公 杉木
 月 小倉山 松虫 橘衣 桂人 扇山 海 杉川の森

^{後古} 時乃と美羽の里をふる橋をたのんたふらふも形一 おきき
^同 小倉山あり 梅 山吹 橘衣 麻月 扇 宮 藤
^{後古} 小倉山すむく、ふるふるきい言をそみよし衣うはゆり 明彦
^同 きのり 梅 介者 あり 麻 宮 扇 山
^中 きのを休うはそきい言をそみよし衣うはゆり 明彦
^同 かつく 小倉山 すむく 梅 柳 梅 介者 扇 郭公 杉木
 月 小倉山 松虫 橘衣 桂人 扇山 海 杉川の森

古
古くをより山を登りて一見之景ありけりハ
日
目録にけし方の月と日とよするの景ありけり
山
此は田の里 早苗 とうもろこし 栗 柿 栗 系 菜
橋川
この能弁田の里にありけり
田
玉川の至り白濁してけり
橋
同 新公 卯花 萩 月 持衣 者 松
全
おぢ乃とぬむすはなるまよるを流しけり
橋
玉川の至り

同
丁ついでやさし水場の石を成つてありけり
山
かまの里 田の園に置候の里に清水ありけり
山
うちね里 石 萩 月 麻 持衣
山
おての里 苧 桂 山 吹 苔 古 川 岩 橋 海 海
山田 舟 草 玉 水 乙 草
山吹の寺
千
千の石の寺はねを桂明井の石を美人とやと号す 基後

^新 戸あを休んね里のさうおまのなまのなまの河川は休ん

ふの原の里 花菅 鶴 紅葉 月 晴 梅 花

^古 年とて信り置候はる、これのよき海原地やたれん

^和 一とれ里 号 梅 花 鶴 月 麻 梅 花 菅 月

宮 さ 松 初 遊 山 古 心

^古 いとあに我世をたぬ 此の如休んね里の甚なり

^山 おもきれ里 山村のー梅衣 うち人山川 冥 峯 杜

^松 山 塚 如こつきののしやまをさうちあるを初め候はる

^和 あやうれ里 号 梅 花 月 号 川 鶴 古 井 古

^新 花のあやうれ里 花をたれ 若の何りか

^古 あやのの里 梅 花 雪 杖 舟 卯 山 の 里 伴 約

新りさすいさのけハ部を考まの何秋のさく 実後

191 也乃里 芦のやの心も 骨 橋 あやめ 菅 唇 橋 衣

月 香 堂 うねり じりん すすもた火 難波

紅梅 毒山 むら山 うね 海 灘

^{新古} 晴之秋の星 川 新 巻 じり 我 骨 牙 此 ね あり ぬ け 業 平

^{新古} 雲 橋 衣 月 香 映 控 山

^山 又 科 也 ち ね 月 新 巻 じり ち ね あり ぬ け 映 控

くろ ね ち ね 雲 橋 衣 新 ね 入 江 毒

^和 山城乃 三 橋 の 黒 江 妹 と 巻 じり じり 漢 亦 ち あり ぬ け

^{新古} 又 科 也 ち ね 月 新 巻 じり ち ね あり ぬ け 映 控

^{新古} 松 半 ち ね 門 野 あり ぬ け 抄 巻 じり 月 新 巻 じり 梅 の 山 ち ね 海 奇

^{新古} 三 ね せ の 巻 雲 橋 衣 月 葉 橋 衣 新 川 じり ぬ け

^{新古} 巻 じり 巻 じり ち ね あり ぬ け 抄 巻 じり 月 新 巻 じり 梅 の 山 ち ね 海 奇

と ね あり ぬ け 抄 巻 じり 月 新 巻 じり

巻 じり あり ぬ け 抄 巻 じり 月 新 巻 じり 梅 の 山 ち ね 海 奇

和 ^集 志の市 栲系にほくおしと方人のうきまきと山丸 物祝
志の市 志の市にうきまきのぬきと山丸 集

驛

栲 ^集 あり 栲枕つきの香の足ぬんをいありのあやと 志家
志 ^集 志つる 志れふおしとる志の後の舞の終りまうあや 志家
す ^勢 ずり 志げまきと志の舞のすまふとまふとあや 志家

水郷

栲 ^集 生田川 栲しつらわのりまき生田川水は舞も志栲も 志栲
山 ^集 のつら 山の名もあはに志しと月桂の秋のうきまき 志家
同 ^集 志 ^集 志の志とわの栲系と志の舞の終りまうあや 志家
栲 ^集 志の浦 志の浦に志の舞の終りまうあや 志家
和 ^集 志田川 志田川に志の舞の終りまうあや 志家
肥 ^集 志名山川 志名山川に志の舞の終りまうあや 志家
和 ^集 志川 志川に志の舞の終りまうあや 志家

^{新古} 夕月秋漸之まにけし 融け江の共能 五葉と 白浪 青能

^山 うち川 ^{新古} 待人のぬく後の如くに 月をまかすうらた 摺能 青能

^同 大井川 ^集 大井の入江の芦花 秋の月も 言はれ 松の影を 秋陰

^同 まきの塔 ^{新古} 何れも 秋の月も 待た 月おなま ぬ 橋の影 師兼

^山 まの浦 ^{新古} 之れは 秋の月も 待た 月おなま ぬ 橋の影 師兼

^山 中 ^{新古} 依り合 あり 雨の 雲の 志 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^和 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^橋 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

^山 ありの川 ^{新古} 秋の月も 待た ぬ 月を まの 久 暮 伏見後

大つせのち 上合山 出

とよみ結寺 古 紅葉 月 雪 并 隆 山 伏の形

板の丸井 苔餅 初雪

淡古 のつらやとくちの秋の月神の物まを影を具氏

小倉山林のち 瓜 小倉 紅葉の余ふあふぬまうらふ 後年

横川 古 秋 雪 降 板の下 洞

お古 静るやとくちや一清州山おまへの水はま 天慶 御書

おちたれち 新云 橋 月 尾上松

集 名よりおはたけ休人部を標まの友はたへく 後年

おちの神 ちかたとよあま三倉の曉とま合山の茶と出

山 ちかたの同は標ま

新後古 松のちやちちの結露の暮ち初まの月と影とぬま お神

山 ちかたの春 流のちぬ 糸井 隆

乃ちあの日 集 つらまのちあつまの流の痛はぬの山とま お八 平

百八

同 柳 榎 榎 菅 竹 荻 葉

此の山は昔より此の山と云ふは此の山と云ふは此の山と云ふは

此の山は昔より此の山と云ふは此の山と云ふは此の山と云ふは

此の山は昔より此の山と云ふは此の山と云ふは此の山と云ふは

此の山は昔より此の山と云ふは此の山と云ふは此の山と云ふは

社 官 神

山 け 水 寺 納 涼 月 堂 といふ といふ

山 ありの 神 といふを 放つ 注の 源

神 地 ありの 神 といふを 放つ 注の 源

い ちの 月 注 山 坂 社 初 年 是 松 一の 一の 一の

月 注 山 坂 社

移 ありの 神 といふを 放つ 注の 源

い せの 神 寺 ありの 神 といふを 放つ 注の 源

い ちの 神 寺 ありの 神 といふを 放つ 注の 源

日 月のま 五月 考り考り ころ地 つすの川に碇を

とよの波 二月 鏡 ころころ 楸 祇園山

集 祇園つすの川のま 相考考すめをけしめきむ 後系

山 かの社 一のまの祇 上社社 下の社 葵 桂 決り

朝云 月 姫や松 ころころ ころ地 中やうに

ころあま 葵ころころ ころのま 中ころに せあよるころ使

山あめにやまの夜 ころころ 楸 川

新 ためま如麻の控やてうちなひ記出被すころの河風 其 秋

回 祇のうね ころころ 五日 中の楸 ころゆき 姫や松 鳥

ころあま ちちやあああころころまのまの松は之に祇ひる 後系

和 ころまの社 楸 祇園 ころころ ころ地 中やうに

ころころの系 八ころ 楸山 ころころ

堀川 二月の初申物もやまころころころころころころころ 後系

山 ころあま 福ころころころのま 祇系 同ころ楸のころころ ころ

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

わりのま 山形 古川 皇居

^{於此}之ありくは其の標形をえられたるものなり、
 びらの言 月あか松 林ゆかり 中より
^於平野の松林をいふも、
^於すそより 言 朱の玉垣 ちまひをいふ
 中より 松浦に
 あつたは、生れるのおおむと、
^於すそより
 中より

附録

園

^{松本}山 寺より 人の庭や庭なるん 昔より 山の松の園 三法
^千近 寺より 庭や庭の松を園とす びん 昔の人 松の心 寺に 寺に

氷室

^{新右}山 寺より 庭や庭の松の園 三法
 日 寺より 庭や庭の松を園とす びん 昔の人 松の心 寺に 寺に

隈

奥^返掛^古の時折々やききん武隈の松を二とあるはるは元美
日^古あやと海を方立候り日ぬとも君とやうに生るは
和^同さくはる海にの海川に船をたて候はれ人船をたて

窟

化^石志の才^{千物}はれとぬれはるる^{あいな}ふらふ^{あいな}年のつたはるはあまも
山^{あいな}あま^{あいな}おはれ^{あいな}常^{あいな}の^{あいな}ゆ^{あいな}まの^{あいな}森^{あいな}に^{あいな}も^{あいな}そ^{あいな}う^{あいな}ま^{あいな}他^{あいな}の^{あいな}い^{あいな}や^{あいな}り^{あいな}と^{あいな}道^{あいな}

安永二年癸巳十一月梓行

浪華書肆

鳥飼市兵衛
松村九兵衛
小牧藤七

この能成なりやのあはれをいふとて
なるとも成代のだもれ業障ふきいす
をいふとてをいふとてをいふとて
此の月成なるをいふとてをいふとて
あつとてをいふとてをいふとて
をいふとてをいふとてをいふとて
若くはをいふとてをいふとて

工者に於國方一とてん心よすある
 の中にまきらゆをうたふる意きもあきり
 せあふたのあまほむれは海ゆまのあま
 けみさきすまにふる歌して思ひあ
 めれと詞のまきまよるゆぬもあ
 こらめ山成うららるるはくまよそ
 ともとれあまをたれまよるはつ原

吹流さるる海とまきとんまのま
 きたるるまきまよるはくまよそ
 ちのまきとけあまよりわつらまよる
 のまきとまのまきまよるはくまよそ
 ねはのまきまよるはくまよそ
 よはまらまよるはくまよそ
 のまきまよるはくまよそ

凡例

一和歌此詞うるる書ハ世々世々中ノ一は此書ハ
 初学なるが云席ニ携ふるにあたりバ者きこるるや
 多し先中世以後多々そぬ詞ハたうをわしぬ
 又花柳公月望の歌づまのあそもも多々
 取べき地ハ畧しつらん
 吾人常格をきく事ハ諍とあり此書ハさる事
 格と諍とを以てしよハ常格書ハのごとゝの詞

をよめたるものなるまじきものなりなり物
字を例によるがし改るること成後守べしと
也寸は款推す知通し

取る何の記すを忘るばよまがれをそたる
を志す志すもよまがれを忘るばよまがれを
を志す志すもよまがれを忘るばよまがれを
誤なるよりくむる王子能く事也取れ異して
也の如きよまがれを忘るばよまがれを

取すべき詞のまじき出るハ一の記しは寸淵に
其淵の記しは玉の部記しは寸淵に其の
部記しは玉の部記しは寸淵に其の
吾来より此説もうけつゝ予が考ゆる説もな
きハ一の記しは寸淵に其の部記しは寸淵に
出る詞に勢況の記しは三年改嫁の義を引るハ
當まりとも是る寸緒の部記しは寸緒に其の
なりは寸緒に其の部記しは寸緒に其の

人にとがみなり又他例にもあるがしく祀もかゆらぬ
ぬは乃守守ニ説きえづきよるもとがむらぶきえ
ニ説古に載るも所り

古言成信事りえと改めりては正禮古にあすこら
ちを母とて父母たてとあかし又二義ある祀に世
一義をのこすもあましお道八河の枕詞も稻妻の
道にも古くはよある成つたの流より稻妻をのこ
ととすといせる故河の枕詞といふ成載すこうくうの

是れひらきぬとよとまねるも古く考へあやうき
うとううがひんをよと里おみえとあそとをん
西を名取ら名取の書ゆぐりてのま原中にもと
漢中の名取をとんとと名取づ方とてんもと
は名取の書も掃りづるべし三熊野よとあす
類あり松砂部に載る武隈の歌ら名取のあも人全に
のるをよとてはあすぬ

神社の部の祭神又社の由来に古来諸説ある者あどく

載るる事ハ神一説を考へて一に
にあらず疑ひあるんを考へ通じ一人中をすべ
し奈神を必考しとあるはあらず神を考へし
も社ハ神と云ふんはあらず考へし
釋教ハ俗もなれりなりと云ふ仙學も俗も
語をのこわづの載るる

詞古歌の詞を法ぬるあるは部
ねえ是の山は橋かろるはより重といふを火風不
何れを以てかろるを考へ長き詞五七の句法なり

ぬハ此歌

雪和歌乃次ニ氷神社の次ニ社人釋教の次ニ傳を載る
歌ハあらずニ考へよりんは又ハ社部ハあらず
樹を以て用部ニ炭之りやの字を載るべきし
天部天此下ニするハ清太の字ニ下ニ細考ニするも
天の字ニ大書の下ニ二約の細考ニするハ清太の詞之
考考すもこの一を以て考へる部ニ大書ニ傳を以て
と考へ下ニ細考ニ秋の歌ハ一考を以て考へる傍ニ

志守がと一又細虫の下に下とせしむる詞一す
るも上は細虫の通毎部皆此例なり

類字ハ 此内ニ此は不たふあり又其類ニ類

しと類を 此中ニ此も何と心をつまへるべし

其部ありきこといふも 其有たふありしむる類

幼童の類なるも 幼の部ニ其もれども其部がし

段の部ニ石繩ハ船の部ニ出で繩の部ニ其守類ニ

字ニ其訓あり何と 床の類たつありよとよむハ

ト如たたふを しくわうは

目錄

天象

一

天

日

月

星

風

雨

雲

霞

絲遊

露

霜

雪

霰

冰

煙

歲時

五

年

曉

曙

朝

昼

夕

夜

閩

東

山

森

沙

方位

西

地儀

杻

林

塵

七

南

七

谷

野

海

北

路

原

浦

遠

橋

田

濱

近

岡

石

湊

関

巖

泻

鳴

沖

江

津

洲

沼

崎

瀨

澤

泊

岸

池

渡

湖

井

淀

瀧

水

磯

河

國都

十六

日本異名

都

禁中

居處

十六

里

村

家

田家

古郷

閑居

水郷

市驛屋菴軒窓戶

床閨柱垣庭隣

神社 二十

伊勢八幡加茂松尾平野稻荷春日

鹿嶋大原布留住吉日吉梅宮吉田

祇園小野貴布祢出雲三輪玉津島熊野

神祇神社雜神事神事雜

佛寺 廿四

寺釋教僧

草 廿六

善菜春草蕨董杜若欵冬藤

葵牡丹菖蒲瞿麥蓮夕欵夏草

萩萩女房花薄月草思草蘭

萱槿菊葛蕉茅蓬

忘草 忍草 苔 芦 菅 薦 萍

藻 和布 海松 蓴 麻 芝 雜草

竹 篠 花 竹ト花トハ部ヲ別ニスルニ
ヲ畧メヨクニ書

木 三十二

梅 柳 櫻 桃 梨 躑躅 卯花

橘 檉 柞 榑 黃桑 紅桑 寒樹

稚 萩 松 榎 椿 杉 檜

柏 楸 榭 雜木

鳥 三十七

鸞 雀 燕 雉 郭公 水雞 鴉

鴈 鳴 鶉 子鳥 水鳥 鳩 鴛

鴨 鷹 鶴 鷄 鶩 鵲 山鳥

烏 雀 鳩 鷓 雜鳥

獸 三十二

馬 牛 鹿 犬 猿 猪 熊

虎 鼯 雜獸

昆蟲 四十四

蝶 蛙 螢 蟬 蚊 蚤 招虫

雜秋虫 蜻蛉 蜘蛛 繭 我柄 雜虫

魚介 四十五

鯉 鮒 鮎 龜 蟹 貝

公事 四十六

曲水宴 乞巧奠 駒迎 重陽宴 野行幸 豐明 佛名

追儆

人倫身禮 四十七

家倫 老幼 髮 淚

人品 四十八

高貴 隱士 遊士 行客 漁 獵 樵

海人 扭女 傀儡 女 人品雜

心情 五十

遠情 悲思 憂喜 是非

人事 五十

祝 迷懷 懷日 無常 夢 餞別 旅

戀 書 信 形見

器用 五十九

筆 墨 硯 紙 扇 琴 琵琶

笛 鐘 碁 蹴鞠 弓 箭 芥

刀劍 玉 鏡 掃 鬢 插頭 簪

簾 杖 舟 船具 笈 綱 網

繩 車 枕 筵 植 筵 簾 燈

炉火 炭 雜器

衣服 六十八

永 裳 絹 衾 紐 緒 帯
綿 糸 布

附録

色香

人物 王昭君 工陽人 楊貴妃 李夫人
陵園毒

和歌演義

天象

天

すめらみ神
川の系
川の系
川の系
川の系

一の岩
一の河
一の系
一の系
一の系
一の系

日
あるなき
日
日
日
日

暁
日
暁
日
暁
日

月
月
月
月
月
月

鳥
鳥
鳥
鳥
鳥
鳥

花
花
花
花
花
花

虫
虫
虫
虫
虫
虫

魚
魚
魚
魚
魚
魚

木
木
木
木
木
木

石
石
石
石
石
石

七重の日 花
乃出 不出
春
秋
夏
夜

花の日の花
乃出 不出
春 山訪
秋 八月十五
夏 六月廿二
夜 十六日

十一日
十五日
十六日
十七日
十八日

月夜
風
星
停午

月夜 月夜
風 風
星 星
停午 停午

十一夜
十三夜
十八日
二十日

将山吹甲斐が子 能は吹初風 依係凡吹 乃山吹

かへし又上へ 山吹風 吹東 乃山吹後東より吹 乃山吹山

枯秋の色 乃山吹吹 乃山吹吹 乃山吹吹 乃山吹吹

雨雨 乃山吹雨 乃山吹雨 乃山吹雨 乃山吹雨

春春 乃山吹春 乃山吹春 乃山吹春 乃山吹春

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹 乃山吹乃山吹

一 花の露
一 花の露
一 花の露
一 花の露

一 雪の支待
一 雪の支待
一 雪の支待
一 雪の支待

一 花の露
一 花の露
一 花の露
一 花の露

一 霧の
一 霧の
一 霧の
一 霧の

一 氷の
一 氷の
一 氷の
一 氷の

一 霧の
一 霧の
一 霧の
一 霧の

一 氷の
一 氷の
一 氷の
一 氷の

朝
朝
朝
朝

煙
煙
煙
煙

民
民
民
民

火
火
火
火

古
古
古
古

氷
氷
氷
氷

時
時
時
時

年
年
年
年

の
の
の
の

を
を
を
を

は
は
は
は

は
は
は
は

一年の 一 年一 年一

一年ヲ長シトスルヲ年ノ

一年ハ正レモ年ト云

新 一 年一

新 一 年一

新 一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

除 一 年一

除 一 年一

除 一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

朝 一 年一

朝 一 年一

朝 一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

一 年一

世の蒼

はくろおかーとま山 ーろひのー山 祈居ををきん

トヨ六ノ果ダ

言名アリ只 祈山ヲモ云 氣の上於 ー葉名アリ只 葉名アリ只 葉名アリ只

さー小山山岳

守るー守る 園園 山山 祈祈 日日 枕

のー日 外面のー枕旅 祈祈 枝枝 のお山 ー山 葉葉

とるーお山山岳 葉葉 のとーお山山岳 おくーお山山岳 葉葉 ーお山山岳 葉葉

のーお山山岳 葉葉 のとーお山山岳 おくーお山山岳 葉葉 ーお山山岳 葉葉

山山 ー山 祈祈 日日 枕

山山 浦浦 のー山 祈祈 日日 枕

化化 ー化 祈祈 日日 枕

谷谷 光光 なな きー谷 祈祈 日日 枕

ささ 葉葉 のおお 祈祈 日日 枕

祈祈 日日 枕

祈祈 日日 枕

祈祈 日日 枕

路路

七七 のー路 祈祈 日日 枕

あから 森 神乃りすゝろとをれゝ一のむら 志め 乃

ナホ 指 ナホ 林 峯の さ らん 山 山 里 於

花の 勢徳 伊勢山雪 舟の 舟花 林トミタモリ 詞 若 野

あらしの 林 勢 山 於 陰 林ノ 叢 あり 林ノ 笹の 木シゲキ世ヲヨメルリ 一 園 其 野

一月 逢 了 又 一 枯 葉 乃 ノ 一 林 葉 の ノ 一 月 也 孫モセバキミ

秋 又 一 系 又 一 中 又 一 邊 又 一 路 又 一 途 又 一 終 又 一 始 又 一 終

古 又 一 終 又 一 始 又 一 終 又 一 始 又 一 終

原 一 一 世 世 一 一 世 世 一 一 世 世 一 一 世 世

一 秋 秋 一 冬 冬 一 春 春 一 夏 夏 一 萩 萩 一 葉 葉 一 小 小 一 松 松 一 栲 栲

一 萩 萩 一 葉 葉 一 小 小 一 松 松 一 栲 栲 一 萩 萩 一 葉 葉 一 小 小 一 松 松 一 栲 栲

秋 秋 一 冬 冬 一 春 春 一 夏 夏 一 萩 萩 一 葉 葉 一 小 小 一 松 松 一 栲 栲

山 於 す 末 山 一 一 山 山 一 一 山 山 一 一 山 山 一 一 山 山

あ あ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

此 此 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

漕

漕船のり漕のー 送る長キヲ云沙粒カギリキキ云 漕船モ云又月船ヲ云ニシテモ云

漕船モ云又月船ヲ云ニシテモ云

塵

塵のー 塵のー 塵のー 塵のー

塵のー 塵のー 塵のー 塵のー

一床のー枕のー

一床のー枕のー

一の牙あるをぬー 一の牙あるをぬー

海大ー

大海のー 大海のー 大海のー 大海のー

一系ー 一系ー 一系ー 一系ー

一ののー 一ののー 一ののー 一ののー

の傍のー 舟のー

浦

浦のー 浦のー 浦のー 浦のー

浦のー 浦のー 浦のー 浦のー

浦のー 浦のー 浦のー 浦のー

浦のー 浦のー 浦のー 浦のー

浦のー 浦のー 浦のー 浦のー

浦のー 浦のー 浦のー 浦のー

浦のー 浦のー 浦のー 浦のー

浦のー 浦のー 浦のー 浦のー

浦のー 浦のー 浦のー 浦のー

浦のー 浦のー 浦のー 浦のー

浦のー 浦のー 浦のー 浦のー

み 波三千七滔
チナル

嶋ハ十 一ゆるれ 浮 一はま 一 はま

河 一カス
ニカケテヨム

一乃あり例 一タ 一タ 一タ 一タ 一タ 一タ 一タ

海 一山 一山 一山 一山 一山 一山 一山

津 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟

世 一入 一入 一入 一入 一入 一入 一入

渡 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟

淀 一河 一河 一河 一河 一河 一河 一河

世 一入 一入 一入 一入 一入 一入 一入

入 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟

一 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟

一 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟

一 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟

一 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟

一 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟 一舟

紅雲赤く日 庭わらさき
・川に沈

蔵珠ヲ洞藏ト云
うらふし一々なる

瀨 上
・中つ流

あつさーくありー川の底ー瀨
・流しき

くえ流せん水ーみるーのぬやぢー
・絶ニ丸也

ーつくー瀧ー
・流しき

てのー瀧ーべきをのー河ー信ー^{岸の}田

住ま。・一・に・あ・る・水・の・し・ら・み・き・り
也取 意 岸ヲ取トセテカケテヨリ

ふ海に
瀧 落 け け け け
・み・あ・る・き・地・や
・ぬ・汝・取・ま・つ・た

おーの白沫 石けるー瀧
・水

口へ
せのつ手
うその中にも流

乃あらせ
これ水上
心此の

そ給
の白糸
・流しき

さあすし
こ記
河 野ー山ー地
・古と我
・古と我

柳一長一細一沖中一田一水一輝一そ一川一野一平一水

水一と一淵一と一海一水一た一の一よ一と

▲一高一よ一を一ち一う一り一深一水一た一の一水一た一と一深一水

江一海一古一不一流一の一其一略一の一水一林一葉一の

カ一水一濁一細一湊一▲一水一の一水一た一と一深一水

一水一た一と一深一水一た一と一深一水一た一と一深一水

一水一た一と一深一水一た一と一深一水一た一と一深一水

垣一水一の一石一の一入一に一緑一水一に一水一た一と一深一水

澤一水一の一田一谷一の一水一た一と一深一水一た一と一深一水

▲一水一た一と一深一水一た一と一深一水一た一と一深一水

山一水一の一水一た一と一深一水一た一と一深一水

▲一水一た一と一深一水一た一と一深一水一た一と一深一水

井一山一水一板一茶一水一信一水一た一と一深一水

水一水一の一水一た一と一深一水一た一と一深一水

▲一水一た一と一深一水一た一と一深一水一た一と一深一水

▲一水一た一と一深一水一た一と一深一水一た一と一深一水

▲一水一た一と一深一水一た一と一深一水一た一と一深一水

▲一水一た一と一深一水一た一と一深一水一た一と一深一水

砌 ぶきぬの庭 紫乃庭 せおの せお上 一戸き

古内山 ばくやの山仙洞 御所 霞の洞 花の庭 萩の尺

みのき弁のせのへ オのへ 追き浦近番 傳は

しの橋 棧モ よるたむら、 夜大極後 昇橋の基 氷舟▲ 倉土のた

と大 律のちやと経後め辰のー 其ノ内重ノミアリ 世ヲシラケ見タテニツルヤマヨカラス外ヨリ仰キ思ヒヤリテヨシ

居處里 ーコア橋のー 出ろおー 岡のへのー 向

ひのー け作は 山造のー 山造のー 村 せお値一

古の長く下あなはふらふらと せおのふらん せおの位里をさつ根々 山造やくー 畑やくー 山造▲ 未汲一

せお値一ー つつき二村三移四る五 ーははま ーはあ六た 岡七の八れ九 村

あつらのー せのー 入はのー 村は 家は 上の三屋三 山三の三た三仔三位

・高はせおなく世の庭 ・せのおちかすのら ・このせおめぬ山里 ・朝大の山
・枕の山 ・朝大の山 ・山に下る人 ・世のおくの家 ・園生の山 ・その下の庭

・谷陰の麓 ・葉の戸 庵にあるに在 ・松の戸 ・松の柱 ・松垣 ・松に
ひくは 隣まとを ・山にへて程ろ時 二万本の畑 ・寛を傳ふぬさ

・せおの程さひらふ ・せおの位里 ・よれうまめまぬ ・うきせとんな
人めもめすらう ・つあさなたならせの仔 ・すきほく ・便もうまりさ

田家 山田二さ二き二世三の庭 ・いれまきの山田の庭 ・あやの山田の庭 ・あれの山田の庭
・山田二さ二き二世三の庭 ・川田の庭 ・稻田の庭 ・あれの山田の庭 ・山

おほしほつ 菅の **菴** 草の 松の 杖 世に ひとく
おほしほつ 菅の 杖の 世に ひとく
おほしほつ 菅の 杖の 世に ひとく

山の 杖の 世に ひとく
山の 杖の 世に ひとく
山の 杖の 世に ひとく

放露雪を **軒** 守り 杖の 世に ひとく
放露雪を 軒 守り 杖の 世に ひとく
放露雪を 軒 守り 杖の 世に ひとく

紫の 杖の 世に ひとく
紫の 杖の 世に ひとく
紫の 杖の 世に ひとく

ついで 杖の 世に ひとく
ついで 杖の 世に ひとく
ついで 杖の 世に ひとく

蓮乃 杖の 世に ひとく
蓮乃 杖の 世に ひとく
蓮乃 杖の 世に ひとく

静さる 杖の 世に ひとく
静さる 杖の 世に ひとく
静さる 杖の 世に ひとく

仙人 杖の 世に ひとく
仙人 杖の 世に ひとく
仙人 杖の 世に ひとく

居 杖の 世に ひとく
居 杖の 世に ひとく
居 杖の 世に ひとく

産つる 杖の 世に ひとく
産つる 杖の 世に ひとく
産つる 杖の 世に ひとく

は 杖の 世に ひとく
は 杖の 世に ひとく
は 杖の 世に ひとく

一の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

木の板 あま **柱** 字一 神社ニ 天のみ ニ神

の巻、

神社

伊

内宮 度会郡宇治郡宇治川 祭神天照太神
外宮 司郡山田系 祭神豊受皇太神

・岩屋の若
・宇治の河

・神治山石枝の松
・神治山上の古き塚と

八幡

・雄山石法
・水と云泉アリ

・内宮の宮
・神治山石枝の松
・神治山上の古き塚と

・臨時祭二月甲午日
・松屋石法をまつるの友

・宇治の河
・神治山石枝の松
・神治山上の古き塚と

・臨時祭二月甲午日
・松屋石法をまつるの友

加茂

下加茂 伊弉皇太神 五依姫の河合ニ結坐シテワタタニ
皇太神 伊弉皇太神 伊弉皇太神 伊弉皇太神 伊弉皇太神

生至フ知シ御生用御形也 神山ハ
ソノカニ山日彦山鴨山也云

・天の岩舟
・久々のあーくまうせし
・神代の浦

テ天カケリ至フ也
ハのれこのあれ孝
・片岡や鴨のこをまつる
・片岡のわづれをまつる
・松の尾のこ

尾松

祭神大山咋神 鴨神祀日吉神同体
古多八松ニセテヨメリ

平野

祭神仁徳天皇 祭神四座ニテ八姓ノ
祀神ニヤツノ氏祀ト云

箱

祭神倉稻魂神
素盞島言 大市姫

・神治山石枝の松
・神治山上の古き塚と

・この玉垣
・この町

・神治山石枝の松
・神治山上の古き塚と

・この玉垣
・この町

春

祭神 武甕槌命 経津主命 天津見屋根命 雄大神
天は地を命命八天孫降臨寸棟梁臣春日明神是下於中臣系

モトノカケカ
天ニサセテト云

・三の神社
・古の松
・松の尾
・松をまつる
・初午

氏ノ祖神河内国平岡 神多二月十日申日・妻山松小菰・夜の名おのそむ
三三笠山無記シ玉リ 修 山ハニ豆の神 古きとゆきの治 志をよけり

さ何の河内 神のあおのそむ子 鹿 祭神武甕槌命 命経津主命ト臣天
は兼使 神のあおのそむ子 島 下ヲ平治シ玉フ春日ト同體シ 松 秋のそ

や山松の山しはくそ六神代のもし 大 祭神春日ニ同ジ夜原氏ノ氏神ニ夜氏ノ 伊
路ノともあそ 原 后宮ニウテ玉フ夕夕都近ク初夜アリシニ 大系

二月やは神多 小松系 姫小松 留 祭神 神体八宝鏡シ ありれ
志あゆ小神 祭神四座 伴井諾多日向小戸橋ノ橋系ニテ被シ玉フ上中
神 下ツ御ヨリ底筒男中筒男表筒男ノ三神アスレ玉フ神功皇后ヲ

アセテ四座ニ三神神功皇后ニ玉ハク 吾和志大津湊中倉ノ長峽ニ居ベシ 伊 松ありき
因テ住来ノ舟ニシトノ神義ニ流シテ宮ツクリシ玉フ長峽ハ今ノ住吉ナリ 夜あはれそむる不神

ときおのあひのりよしおおをくしん 是神詠テ多クかあトレリ 夜あはれそむる不神
あはれそむるのそむきそむきいそむるめてき 是モ神詠トツ

・この國下れなひき 天ノ下は忌人神のおおし 松ありに波ノ原浦
のそむ ありきり原の治ありと原し 橋の小戸の夜そむれ 松そむ
神の掛 住吉サカキヲ用ヒテ 松ありに波ノ原浦
定乃社 松ありに波ノ原浦

・を江の浦乃神垣 七の社社 七の社社
日吉の系 七の社社 七の社社

・神多月乃桂也光る夜そむり 梅 祭神四座 大山祇神
出見尊 村花開耶姫 社梅津里ニアリ 瓊ノ村尊 彦火

若宮諸兄公ヲニルニ橋氏ノ祖神ナリ 松ありに波ノ原浦

・名お松小松のそむ 吉 祭神春日日向ジ 松ありに波ノ原浦

・名お松小松のそむ 田 中納言山彦ノ初夜 松ありに波ノ原浦

・名お松小松のそむ 祇 祭神牛日天白王素盞馬等 松ありに波ノ原浦

・名お松小松のそむ 園 八王子 少井 稻田姫 松ありに波ノ原浦

我者不本の橋をさくは柱並の方にもさるん 是神祇也
ついで六月十日 白川の神のまつり 神の園也 鳥

野 祭神 菅相公 中務卿 吉野天女 御世
あまのつゆ 一松の松 一松の松
あまのつゆ 一松の松 一松の松

おとく のつゆ 一松の松 一松の松
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

おとく のつゆ 一松の松 一松の松
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

おとく のつゆ 一松の松 一松の松
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

おとく のつゆ 一松の松 一松の松
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

おとく のつゆ 一松の松 一松の松
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

島津 祭神 祖通姫 姫允恭天皇
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

熊野 本宮 新宮 那智 三山 三山 三山 三山
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

神 天つ神代 園津
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

神 天つ神代 園津
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

神 天つ神代 園津
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

神 天つ神代 園津
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

神 天つ神代 園津
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

神 天つ神代 園津
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

神 天つ神代 園津
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

神 天つ神代 園津
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

神 天つ神代 園津
おとく のつゆ 一松の松 一松の松

神事 雑

神のまゝき

神のまゝき

神のまゝき

神のまゝき

き いそがしき氏たるは
云神ニナラモノ

ゆふすき

ゆふすき

ゆふすき

柳系 いそがしき氏たるは
云神ニナラモノ

柳系

柳系

柳系

はら 神のー子・きぬ 神のー
はきつこふ 神ラカレぬきことハ教言

はら

はら

はら

佛寺

古寺 蕭寺モトハカリヨミテヨシ
初瀬山横川ノドヨハチナクテモヨシ

寺

寺

大ー林兼

大ー林兼

大ー林兼

大ー林兼

権つ あつらね松
鐘の音 玉露の裡

権つ

権つ

権つ

月比 あつらね松
鐘の音 玉露の裡

月比

月比

月比

仙麻苑 あつらね松
鐘の音 玉露の裡

仙麻苑

仙麻苑

仙麻苑

猪 あつらね松
鐘の音 玉露の裡

猪

猪

猪

一 あつらね松
鐘の音 玉露の裡

一

一

一

虫 あつらね松
鐘の音 玉露の裡

虫

虫

虫

花 あつらね松
鐘の音 玉露の裡

花

花

花

草木 あつらね松
鐘の音 玉露の裡

草木

草木

草木

一 あつらね松
鐘の音 玉露の裡

一

一

一

心ひより此法 後指教花も胡ハハきれ世中ハ心此外の
ニ生々ツコトクナリ 物とやつきく 伊勢志摩 三界唯一心

くろき海 みのり此川 細く 花の七夜に 宿坊

池蓮 鶴乃林 仏入戒寸そ処木白ク ナリテ白鶴ゴトクナリシ
新つき 一 烟もすて たるよあんトヨ

メルハ舎利ヲカクセルハ仏入 海島トク 心此月 一 此

云 せとわのひある 受戒ノ益 衣此 玉 三の車

牛羊鹿ニ車ニ宝ヲシテ大宅ニ物ヲサボリテ候上ト云ル者ラスクマニ
ナキ 若シの中牛此車なるをせハ此の家をつる物也

法の水ヨマヤセリ 麻吹野 誓の舟 若海ヲタリテボダ イノ岸ニ至ル誓ヒ
僧 淨 侶

モ同じ 善徳の神 律 ころはなく 俗信ヲ信行ナレシ 法の師
や水 此の衣 寺トアリテうつるをく又権子之よむナドバ信トキエ

草 菜 初 野菜 燉菜 淡菜 七つと

コトガサミ ナスシロ 忍く 芥 此のふの 摘つて 根にあり 白葉の清

うらを摘 浮水ヌおち根 春 摘ふくむ 細よる 此の

かろ 浮水ヌおち根 春 摘ふくむ 細よる 此の

かろ 浮水ヌおち根 春 摘ふくむ 細よる 此の

かろ 浮水ヌおち根 春 摘ふくむ 細よる 此の

かろ 浮水ヌおち根 春 摘ふくむ 細よる 此の

かろ 浮水ヌおち根 春 摘ふくむ 細よる 此の

かろ 浮水ヌおち根 春 摘ふくむ 細よる 此の

かろ 浮水ヌおち根 春 摘ふくむ 細よる 此の

五ニナルヲ
ほると云

堇

つひ

常ノ堇之花形
堇似タルナリ

▲つたれりて
乃床

・あつ田の時あつむ

・堇のうら系摘・堇花を系係・古あき原・野成あがり之
一扱ねより・古系相一・系系うら系神・一摘の扱衣

杜

・古垣沿の一
・増をあすく

・延のー・ほのぢる・さねますゆ・ほりおむこ
垣一へ・まをさぬ・存りそ・せく

欵

ハ重

筧の

古今

乃管ハ山とみくきん九よるハと云と
ややととくは芳言り空の山ナカケヨリ

藤

の花

つる

一たるま

一のうら

ふ等自枝あきき

藤

の花

つる

一たるま

一のうら

赤意ニ一
に花をえ

一

あとの花

一の花あき

▲紫ハ裁ハ海

・多れをの
ゆりり・なふ木あきき

まのい草・初葉より原
流の系は同・葉にのうら

・流のあより原
まのふきをね流

茶

▲ゆりり

・なふ木あきき

・たの

▲手あれも二系
うらやうのい

・こあれひくあユ一

・のけ系流の玉より

・緑のー

・かあらのつら

・茶ト桂トイハ茶ノ類ニ

もろろろト云ハ茶トナクテモヨシ
なる諸人のうら守

・一のうら流
・子系のうら

・一と流

・一と流

・一と流

・一と流

牡丹

ふらる系

はつる系

はつる系

花弁より取

二廿日ト云

蒲

あめ

の年

一初葉を此枕
季のをまねきめ

・引きもあき

・まきねをうら

・あの一

▲ま

・あの一

やま一
をくアリ

・あの一

・あの一

・あの一

・あの一

・あの一

におも辨ハぬ

蓮

池ニモ

一のうら

▲ま

・あの一

・あの一

・あの一

・あの一

うのふいあれさ
もなき味

・月や雪をきひま

款

ハ重

・あの一

・あの一

月待 花笑かこあちり
や 山うつれけし

夏

定とらねの下の草
赤草やをる後
秋の花もあ
野うみの草

ハ角をよるは
猫人のねをよるは
多風のとよすりの草
さぬーの風

秋

ハ 秋のー
演

多風のとよすりの草
さぬーの風
葉ありの風
葉をよる風
よれ、の秋をよるぬ草

萩

萩 萩 萩
萩 萩 萩
萩 萩 萩

萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草

萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草

萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草
萩の草

薄

初尾花
薄 薄 薄
薄 薄 薄
薄 薄 薄

薄の草
薄の草
薄の草
薄の草
薄の草
薄の草
薄の草
薄の草
薄の草
薄の草

花

花 花 花
花 花 花
花 花 花

花の草
花の草
花の草
花の草
花の草
花の草
花の草
花の草
花の草
花の草

思

思 思 思
思 思 思
思 思 思

思の草
思の草
思の草
思の草
思の草
思の草
思の草
思の草
思の草
思の草

朝

朝 朝 朝
朝 朝 朝
朝 朝 朝

朝の草
朝の草
朝の草
朝の草
朝の草
朝の草
朝の草
朝の草
朝の草
朝の草

草

草 草 草
草 草 草
草 草 草

草の草
草の草
草の草
草の草
草の草
草の草
草の草
草の草
草の草
草の草

道

道 道 道
道 道 道
道 道 道

道の草
道の草
道の草
道の草
道の草
道の草
道の草
道の草
道の草
道の草

新・うらね 雑草 庭あそび草
・花の下の
・乃房あそび草
・中

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

一わとー
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

・花の下の
・花の下の
・花の下の
・花の下の

槿

菊

葛

草

蓬

蕨

茅

葛

草

蓬

蕨

茅

葛

草

蓬

蕨

茅

葛

草

蓬

新ニモカ
ルトヨム
むすー 招もたうて思ひかう上
一 の正 道 さじり
一 の正 衣 思ハトニ生々
ルツ衣ニミナシ

テ云又僧
テラモ云
一 オヒ、目 赤 の正
一 の正 赤 新に赤き一の色
一の色正
一 の正 赤 一に赤き
一の上赤き色

赤なるの考ね
赤なるの考ね
一 の正 赤 一の色正
一の色正
芦 草
草

乃々むー 反折のー 流連ー 止々ー 志々ー 浦ー 湊

一 根をふりきき 志 根をふりきき
根をふりきき

乃下振吉根 一の竹種
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

花 花
花
一 の正 志 一の色正
一の色正

お・くち系
葉しりいあり
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

お・くち系
葉しりいあり
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

お・くち系
葉しりいあり
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

お・くち系
葉しりいあり
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

お・くち系
葉しりいあり
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

お・くち系
葉しりいあり
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

お・くち系
葉しりいあり
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

お・くち系
葉しりいあり
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

お・くち系
葉しりいあり
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

お・くち系
葉しりいあり
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

お・くち系
葉しりいあり
一 の正 志 一の色正
一の色正
一 の正 志 一の色正
一の色正

さうしてゆ・よきまぬ・うぬおけるぬら治ハズル
まうぬふゆをさし・さきふぬあうふん 藻モハ一の毛ウシのハ

仲ナカハ一 ちみき一 くる一 ありの せき一 烟ケのみ連一

なうれ一 玉タマの毛 一 け 仲ナカのハ かがら卑下ト云人ノコ
漢入玉ト云スベテ歌ヲ待テ文ヲ添テ云

一 ちか子チカコ くるコカケテ なのすろ 名ルナト云
ト云云

わのワ一 くる 一 ぬヌ 一 記キ 一 南ミナミの風カゼのハ 一
よしくあし一

一 ちか子チカコ くるコカケテ なのすろ 名ルナト云
ト云云

一 ちか子チカコ くるコカケテ なのすろ 名ルナト云
ト云云

のハや 櫛シ一 一 ちか子チカコ くるコカケテ なのすろ 名ルナト云
ト云云

▲世中ヨのハあとおくまうにり
このあはれアハレの草クサのハ一 芝シ道ミチ一 きの草クサハ 一 ちか子チカコ くるコカケテ なのすろ 名ルナト云
ト云云

一 ちか子チカコ くるコカケテ なのすろ 名ルナト云
ト云云

一 ちか子チカコ くるコカケテ なのすろ 名ルナト云
ト云云

一 ちか子チカコ くるコカケテ なのすろ 名ルナト云
ト云云

一 ちか子チカコ くるコカケテ なのすろ 名ルナト云
ト云云

一 ちか子チカコ くるコカケテ なのすろ 名ルナト云
ト云云

藻モハ一の毛ウシのハ

煙ケのみ連一

布ヌ一 記キ 一

麻アサ一 記キ 一

草クサ一 記キ 一

一 記キ 一

一 記キ 一

一 記キ 一

一 記キ 一

一 記キ 一

一 記キ 一

一 記キ 一

一 記キ 一

一 記キ 一

一 記キ 一

うけらの花 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 比の事花のつ

ら 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

玉 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

青 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

乃 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

竹 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

むら 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

な 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

よ 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

ふ 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

美 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

園 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

花 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

白 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

うけらの花 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 比の事花のつ

ら 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

玉 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

青 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

乃 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

竹 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

むら 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

な 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

よ 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

ふ 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

美 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

園 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

花 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

白 花ヲ云ヒテヒラカク故ニ色ニシテ花 花の事花のつ

て...
がサシ木ナルヲモ云

木

梅

梅の木のー。花はれしつゝも老て。老し一花初也
。花はらなな。花うぬぬきを考

粟花

石つせにしろくぬーの白くも梅はあやふ世まこね
こちれ上月の事かーの世にこちふ白あま風

紅白

心

をばんりーし白ひかやれ
ーのこまなりの 梅香

白

一。雪をよむのを。雪の梅は
侍。月のそはあのかさる

紅

こ

ぬの梅。雪あふる枝しをきりぬ
うきぬの梅はぬのうき分梅受ふとそとに梅

柳

一。かー。つ

かきー。梅の木のー。梅の
梅のー。水。上。サシ出丸

ふ

一。さー。池

又サシ木ナルヲモ云

一。系。一。陰

お

お。面。一。う。ま。な。は。く。ぬ

ふ下枝水。系下を係不白梅

ーの胃。ーの陰あむ梅。梅香

見

雪。折。花。も。も。あ。ま。あ。ら。う。の

さほ娘のちつと梅のー。梅香

思

思。花。や。さ。の。梅。は。な。い。し。ま

オにつと。梅のさるん。とつと

思

思。花。や。さ。の。梅。は。な。い。し。ま

うらな。梅も梅も梅も梅も梅も

脱

脱。花。の。梅。は。な。い。し。ま

心を心。梅のさるん。とつと

交

交。花。の。梅。は。な。い。し。ま

へお。梅のさるん。とつと

割

割。花。の。梅。は。な。い。し。ま

うの

花

花。梅。の。梅。は。な。い。し。ま

花

花。梅。の。梅。は。な。い。し。ま

のちぬ

花使

あそびにけりうやまぬと如きもの
さうらをさるはあつらんあや

花便

あそび乃りあや
ふくそとくつ

をいそん

花王

信長社
あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

花形

信長社
あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

花

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

桃

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

梨

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

新乃つま

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

白

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

卯

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

花

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

花

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

橘

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

あ

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

子

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

標

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

柞

あそびにけりうやまぬと如きもの

あそびにけりうやまぬと如きもの
あそびにけりうやまぬと如きもの

本

あそびにけりうやまぬと如きもの

かどー 一のさ枝・又さ枝・柄上り
枯れあすう系・落きあすい
種 山よりうき
お系・白とん

て増る林の色
黄 落きあすい
種 山よりうき
お系・白とん

時あもり
ぬ色
紅 葉 擇
色はあやと平捺伸
一の葉の落きもる

むすのつらつ心の内よ
待箱 山よりうき
のをせむはあやと平捺伸
師系

すり岩田のを枝・柄系あすい
とさむいさむとあすい
一の葉の落きもる

らを枝林もあすい
系を枝りんの心もあすい
一の葉の落きもる

てれこを
よき系
落葉 一の葉の落きもる
一の葉の落きもる

流り
お系あすい
一の葉の落きもる

ちとさうり
お系あすい
一の葉の落きもる

えぬ
樹 葉の落きもる
一の葉の落きもる

権 葉の落きもる
一の葉の落きもる

ハシを枝もとれを枝
二葉きーの葉
片園のちのちの園を枝も
一の葉の落きもる

新 葉の落きもる
一の葉の落きもる

ねーろなす
老かたうき
一の葉の落きもる

うなぬー
葉の落きもる
一の葉の落きもる

あー
葉の落きもる
一の葉の落きもる

長俵の
葉の落きもる
一の葉の落きもる

いづよとせしむらんきとせしめん 季通
見たりと云う三木ニカケルとせし木也松

松代乃

松代乃 松代乃 松代乃 松代乃

少松のこころは又も人の心も
結ぶは縁を不吉にせぬと云ふ

あはれ松

あはれ松 松代乃のあはれ松
松代乃のあはれ松

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

松代乃

松代乃 松代乃 松代乃 松代乃

大松根片岸のーアハルハルマ
ぬモミヤセマシ

松代乃

松代乃 松代乃 松代乃 松代乃

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

松代乃

松代乃 松代乃 松代乃 松代乃

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

松代乃

松代乃 松代乃 松代乃 松代乃

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

松代乃

松代乃 松代乃 松代乃 松代乃

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

いづよとせしむらんきとせしめん
いづよとせしむらんきとせしめん

立山

立山立山の立山立山の立山立山

立山立山の立山立山の立山立山

檜檜一系檜

立山立山の立山立山の立山立山

古き古き深洞深洞や深洞危危老老枯枯悲悲

柏柏なら柏

柏柏なら柏の柏

あはてあはて山あはてのあはて

ののふのくのくの

柏柏の柏

あはてあはてのあはて

一本一本の一本

ののふのくのくの

柏柏の柏

あはてあはてのあはて

一本一本の一本

ののふのくのくの

柏柏の柏

あはてあはてのあはて

一本一本の一本

ののふのくのくの

柏柏の柏

あはてあはてのあはて

一本一本の一本

ののふのくのくの

柏柏の柏

あはてあはてのあはて

一本一本の一本

立山立山の立山立山の立山立山

雑雑桂桂の雑

立山立山の立山立山の立山立山

雑雑桂桂の雑

立山立山の立山立山の立山立山

雑雑桂桂の雑

立山立山の立山立山の立山立山

雑雑桂桂の雑

立山立山の立山立山の立山立山

雑雑桂桂の雑

立山立山の立山立山の立山立山

雑雑桂桂の雑

立山立山の立山立山の立山立山

雑雑桂桂の雑

立山立山の立山立山の立山立山

雑雑桂桂の雑

立山立山の立山立山の立山立山

雑雑桂桂の雑

立山立山の立山立山の立山立山

雑雑桂桂の雑

立山立山の立山立山の立山立山

雑雑桂桂の雑

・ 〇のりもね 慈根ヲ寝ソヘテ云
・ つまねりもね 根ヲ寝ソヘテ云
・ 等木 古に於て老木を云ふ也

つる木 塩木 杉木 馬木 赤木

・ 皮十カラ
・ 木 〇のりもね
・ 〇のりもね
・ 〇のりもね

・ 〇のりもね
・ 〇のりもね
・ 〇のりもね

・ 秋もも
・ 冬もも

鳥 鶯 初一 在 一 ▲
・ 鶯 〇のりもね
・ 鶯 〇のりもね
・ 鶯 〇のりもね

・ 鶯 〇のりもね
・ 鶯 〇のりもね
・ 鶯 〇のりもね

雀 子 雀 雀 雀 雀 雀 雀 雀 雀 雀
・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね

・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね

・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね

・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね

・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね

・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね

・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね
・ 雀 〇のりもね

めもさうて唱
 したもさある
 同し於れぬまて唱
 ・於を清きものた
 ・於なるす
 ・於りて後ハさぬ
 ・於れぬをさく
 ・於の門に
 一トツク
 又トナクテモ
 一河
 雁
 一の使

初
 鳥
 一の使

鷄

のりー

時時ハズカクナシ。・羽のさく林の

・あまのりな

すー。・籠のまよひ。・さのりやもほろもろに。・あまのりな

鳥子

浦ー河ー磯ー浜ー 浪ー 夕ー

ー女ー 夕ー 夕ー

すまのり。・あまのりな。・あまのりな。・あまのりな

水ー 夕ー 夕ー

鳥ー 夕ー 夕ー

知主

削舟

智

智

鴨

鴨

鷹

鷹

鷹

鷹

鷹

鷹

鷹

七月十ヲ
やう鳥のー やう鳥のまうらの鷹 野さし

乃ー ソレテスシク つるまのー ま ぶなまのー ま 白鳥のー

鳥のふたー けー つるまのー みまの翅 七ノ羽シカにそ

き左ノ羽 ぶなまのー 初とる 山ノ下ノ山ヨリ出ルシ

ソレントルシ づるまのー 海 づるまのー 山のほとり 後が

ニあるトルシ づるまのー 羽 づるまのー 羽 づるまのー

フトリテ一足ニテ づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

お づるまのー お づるまのー お づるまのー

野さし

白鳥のー

みまの翅

山のほとり

海

お

お

お

お

お

お

お

お

お

お

お

お

お

お

お

七月十ヲ

ソレテスシク

き左ノ羽

ソレントルシ

ニあるトルシ

フトリテ一足ニテ

お

お

お

お

お

お

お

お

お

お

お

お

お

お

鶴 白鳥のー

浦ー お づるまのー

山人のまよひにさす

雛のまよひにさす

昔四国ニテ被セシ寸

告げし

心とくそむ

心とくそむ

心とくそむ

心とくそむ

心とくそむ

心とくそむ

獸

馬

あ毛の駿正

白尾尾を

うひの馬馬

は

困あの弱あ 其ノシテ

月毛月毛の弱弱

秋の馬秋の馬 子子な

まの弱弱 大津大津の弱弱

牧の馬牧の馬 老老る

老老る弱 老老る弱

たつらしたつらし

たつらしたつらし

たつらしたつらし

たつらしたつらし

たつらしたつらし

たつらしたつらし

たつらしたつらし

たつらしたつらし

たつらしたつらし

たつらしたつらし

たつらしたつらし

たつらしたつらし

牛

里里の馬馬 十十とと 一一 牡牡牛牛 一一 牝牝牛牛

一一 牝牝牛牛 一一 牝牝牛牛

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

あふあふ 鼻鼻 繩繩 守守

犬 犬のつめをひきぬ山のつみ 犬のつめをひきぬ山のつみ 犬のつめをひきぬ山のつみ

招き 招き 招き 招き 招き 招き 招き 招き 招き 招き

猿 猿 猿 猿 猿 猿 猿 猿 猿 猿

猪 猪 猪 猪 猪 猪 猪 猪 猪 猪

熊 熊 熊 熊 熊 熊 熊 熊 熊 熊

虎 虎 虎 虎 虎 虎 虎 虎 虎 虎

子 子 子 子 子 子 子 子 子 子

尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾

鱧 鱧 鱧 鱧 鱧 鱧 鱧 鱧 鱧 鱧

雛 雛 雛 雛 雛 雛 雛 雛 雛 雛

猫 猫 猫 猫 猫 猫 猫 猫 猫 猫

蛙 蛙 蛙 蛙 蛙 蛙 蛙 蛙 蛙 蛙

蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶

昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫

昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫

カビエ 蕪 菓子 少くもりや びきるゆ 乃歌

山まゆ 珠のめり引 古と ありあがる 藤子 可成虫の ひとねと

我 柄 古と ありあがる 藤子 可成虫の ひとねと

雑 虫 心 毒虫 方のおくれり 友虫 蜂をけ

蟻 六歩 するんる 一の道 海 船 ちんる

魚介 鯉 つなき 一 乃 一 流 一 鮒 陸田

一 藤 一 つの 一 池 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃

鮎 わの 一 わゆ 一 子 一 乃 一 乃 一 乃

桂 一 桂川 一 一 一 一 一 一 一 一

亀 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃

貝 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃

蟹 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃

乃 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃 一 乃

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

ろのあはれ 西のやま みる 湖の こと 但志浦 一 此

玉 真珠ニアリ 多キハ 波よする 一

公事 公事 歌ハ 庶人ハヨムシキモシ 故アリテヨバカクアルランカト 推量ノ名ニ

曲水 曲水 一 川の流を待たず 壺の流を待たず 一 壺ヲ 壺ノ流を待たず 壺ノ流を待たず 壺ノ流を待たず

宴 宴 一 酒を飲ぶ 一 酒を飲ぶ 一 酒を飲ぶ 一 酒を飲ぶ 一 酒を飲ぶ 一 酒を飲ぶ

駒 駒 一 馬をいふ 一 馬をいふ 一 馬をいふ 一 馬をいふ 一 馬をいふ 一 馬をいふ

迎 迎 一 出迎ふ 一 出迎ふ 一 出迎ふ 一 出迎ふ 一 出迎ふ 一 出迎ふ

諸人のしる 諸人のしる 諸人のしる 諸人のしる 諸人のしる 諸人のしる 諸人のしる 諸人のしる 諸人のしる 諸人のしる

遣 遣 一 送る 一 送る 一 送る 一 送る 一 送る 一 送る

人倫身體 孝 孝 一 孝行 一 孝行 一 孝行 一 孝行 一 孝行 一 孝行

はくき ありとて ありとて ありとて ありとて ありとて ありとて ありとて ありとて ありとて ありとて

おやの祝 祝 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀

おやの子 子 一 子孫 一 子孫 一 子孫 一 子孫 一 子孫 一 子孫

おやの祝 祝 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀

おやの子 子 一 子孫 一 子孫 一 子孫 一 子孫 一 子孫 一 子孫

おやの祝 祝 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀 一 祝賀

おやの子 子 一 子孫 一 子孫 一 子孫 一 子孫 一 子孫 一 子孫

夫ヲモ 思ハ高 幸業 夫ヲモ書ヲモ云 人シラヌヤ

人妻人 即中法水 夫婦 夫ハ子ノ

親ノ 同所 親族 同所 老ノ 老ノ

親奴 猶老ノトヨク 鏡ニ 翁ニ 老人ニ 一ノ坂 一ノ波

さ紫 眉ノ紫 竹ノ紫 杖ノ紫 雪ハシテ波ハ面ノシハ

とゆハの紫 一ノ紫 一ノ紫 一ノ紫 一ノ紫 一ノ紫

切ミとる子 する 一ノ紫 一ノ紫 一ノ紫

わけ おされ 竹の子 小松 二葉ナドヨセテ

駿 新也 ね ね ね ね ね ね

涙 涙 涙 涙 涙 涙

牙を志す 牙を志す 牙を志す 牙を志す

神ノ中ノさぬ 一ノをぬ 一ノをぬ 一ノをぬ

神ノ中ノさぬ 一ノをぬ 一ノをぬ 一ノをぬ

人品 貴 高 山 山 山 山

天子ヲモウシタテニツル 南不 山 山 山 山

春の宮東宮 秋結皇太后 弁乃園生親王 園白園白

星位大臣 信なほく日 之笠山大佐將 大主人百孝

野一赤尾好直 士隠 遊仕 出山新橋古道 密密

山野 漢漢 網網 網網

あまあま 網網 網網

あまあま 網網 網網

あまあま 網網 網網

網代 九月ヨリ 二月ヨリ

網網 網網 網網

網網 網網 網網

網網 網網 網網

網網 網網 網網

網網 網網 網網

網網 網網 網網

網網 網網 網網

網網 網網 網網

網網 網網 網網

網網 網網 網網

網網 網網 網網

松の朝 上りきりし同しちりし
藤街 藤にもあひぬ

樵 柴人 木くさし 薪くさし
薪くさし

宗おちトドイハ山 宗よきうそ休む 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
人山松トドヨミテヨシ 宗よきうそ休む 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

おち山 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
おち山 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

く 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
く 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

のひに 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
のひに 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

め 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
め 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

契 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
契 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

女

お川の管の管や 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
お川の管の管や 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

をよめ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
をよめ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

波女 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
波女 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

持め 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
持め 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

市人 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
市人 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

亦長 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
亦長 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

匠 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
匠 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

七折小 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
七折小 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

すこ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松
すこ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松をひきふ 宗あさる松

あのかみ

あはれなるおのこ

あふりり

あはれなるおのこ

心情

情

コトカラを方マ内シテテ思ハレシ。月おー。さく。あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

憂

思

人の母ハうまひのをわく。とる。あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

喜

非

あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

人事

祝

あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ

あはれなるおのこ。あふりり。あはれなるおのこ。

・この人もけがをなせ世 **夢** 一乃くち活活 してあは

一のわらじ **海** 一海 **一** 一

海 **一** 一をばる **一** 一語り

別 一をばる **一** 一をばる **一** 一をばる

旅 一の山 **一** 一をばる **一** 一をばる

松 一の山 **一** 一をばる **一** 一をばる

松 一の山 **一** 一をばる **一** 一をばる

初 一初 **一** 一初 **一** 一初

初 一初 **一** 一初 **一** 一初

初 一初 **一** 一初 **一** 一初

初 一初 **一** 一初 **一** 一初

初 一初 **一** 一初 **一** 一初

初 一初 **一** 一初 **一** 一初

初 一初 **一** 一初 **一** 一初

初 一初 **一** 一初 **一** 一初

初 一初 **一** 一初 **一** 一初

初 一初 **一** 一初 **一** 一初

初 一初 **一** 一初 **一** 一初

所の福なき。ありて移るを油のあま。
・馬より一樹の皮のやうに
・他人の欠けがたキタルに
・を根 是やうに
・他人の欠けがたキタルに

通書

文アリテモウケヒカヌヲ云ヌガヒニカヨハヌヲモ云
・多きれは終るぬ申河はつていよむは道康なる

返書

・所止る人の心を名あ流の
・あつたるよりへやハ程世

通書

・おれつるをのよ引きてつてあまうき
・人のむつと師老
・冬下チテモト又下バカリモ

得失

・不裁やとをたにをた
・とをり、一をたにをた

祈力

・依る祈力モ同じは思
・ヲヤメ下下祈又カクウキ

思セヨ早クウセント祈 又達デノ命ナラヘニヨ祈ルナレ
・祈力、依る祈力モ同じは思
・ヲヤメ下下祈又カクウキ
・祈力の力ををえ

のけりおる乳あり
・祈のあま計下 祈る

誓言

・誓言、
・あまも人のあまもるる乳

・あまもるる乳、あまもるる乳、あまもるる乳
・あまもるる乳、あまもるる乳、あまもるる乳
・あまもるる乳、あまもるる乳、あまもるる乳

テシメヨ引一問ニモリテモイニルソレライモ井ト云或ハ百日
・祈力、依る祈力モ同じは思
・ヲヤメ下下祈又カクウキ

レモアリ、
・祈力、依る祈力モ同じは思
・ヲヤメ下下祈又カクウキ

訓

・祈力、依る祈力モ同じは思
・ヲヤメ下下祈又カクウキ

誂

・祈力、依る祈力モ同じは思
・ヲヤメ下下祈又カクウキ

疑

・祈力、依る祈力モ同じは思
・ヲヤメ下下祈又カクウキ

・祈力、依る祈力モ同じは思
・ヲヤメ下下祈又カクウキ

つぎやあまのうらつたあつた
うらつたあまのうらつたあつた

忍途

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

まね

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

遠約

あつたあまのうらつたあつた

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

不堪

あつたあまのうらつたあつた

互待

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

俄達

あつたあまのうらつたあつた

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

舎後

あつたあまのうらつたあつた

掃途

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

後途

あつたあまのうらつたあつた

旅宿

あつたあまのうらつたあつた

遊舞

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

後途

あつたあまのうらつたあつた

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

後途

あつたあまのうらつたあつた

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

後途

あつたあまのうらつたあつた

あつたあまのうらつたあつた
あつたあまのうらつたあつた

惜名

あつたあまのうらつたあつた

乃て此の秘の秘を消えり
又道にのりてたがし 著

久、思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

近、
心と交テアル眼
又人の老ク障ル

遠、
六首書
よつくせ

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

恨、
心と交テアル眼
又人の老ク障ル

片思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

思、
思ふ年へテア公是、
年のもよみなきあはしの久き書の空太き也

つと文 上ツハミ

つと文 上ツハミ

一筆の ヤキ筆ニテ

月 十二月

物 モノ

見形 見

の ノ

器用 器

筆 筆

の ノ

林 翰林

墨 墨

松 松

硯 硯

古 古

月 月

繪

名 源氏

物 モノ

見 見

の ノ

器 器

筆 筆

の ノ

林 翰林

墨 墨

松 松

硯 硯

古 古

月 月

水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー

山名のおろけー 山名のおろけー 山名のおろけー 山名のおろけー 山名のおろけー 山名のおろけー 山名のおろけー 山名のおろけー 山名のおろけー 山名のおろけー

水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー 水もすあー

友ー 友ー 友ー 友ー 友ー 友ー 友ー 友ー 友ー 友ー

櫛玉をー つきのをー つきのをー つきのをー つきのをー つきのをー つきのをー つきのをー つきのをー つきのをー

おのー おのー おのー おのー おのー おのー おのー おのー おのー おのー

髪玉ー 髪玉ー 髪玉ー 髪玉ー 髪玉ー 髪玉ー 髪玉ー 髪玉ー 髪玉ー 髪玉ー

乃ー 乃ー 乃ー 乃ー 乃ー 乃ー 乃ー 乃ー 乃ー 乃ー

茶ー 茶ー 茶ー 茶ー 茶ー 茶ー 茶ー 茶ー 茶ー 茶ー

ゆふー 社ー 山ー 山ー 山ー 山ー 山ー 山ー 山ー 山ー

の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー

の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー の玉ー

同居スルヲ云 同居スルヲ云 同居スルヲ云 同居スルヲ云 同居スルヲ云 同居スルヲ云 同居スルヲ云 同居スルヲ云 同居スルヲ云 同居スルヲ云

笠 笠 笠 笠 笠 笠 笠 笠 笠 笠

志あきー 志あきー 志あきー 志あきー 志あきー 志あきー 志あきー 志あきー 志あきー 志あきー

神ー 神ー 神ー 神ー 神ー 神ー 神ー 神ー 神ー 神ー

松ー 松ー 松ー 松ー 松ー 松ー 松ー 松ー 松ー 松ー

梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー

梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー 梅ー

舟形一 舟の如く一 やらる 一 古くは

一と百も也 古城のくろの下の 舟の如くは まるり 三まき 舟を 舟の如くは 舟の如くは

山一 ぬいの 崎 兼 舟さ一 山すげの 一 徳一

ある所 舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは

舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは

舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは

舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは

舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは 舟の如くは

建一 一葉の 河を流す いな

建一 一葉の 河を流す いな
六上レバクタルトヨメリ

建一 一葉の 河を流す いな
心チテヨリ

建一 一葉の 河を流す いな
掘ヤカ

建一 一葉の 河を流す いな
帆

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

建一 一葉の 河を流す いな
櫂

六上レバクタルトヨメリ

心チテヨリ

掘ヤカ

帆

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

櫂

炭

一本換山
・市里
・車

市
大
不

一の海

・市
・山
・炭

やく
出
の
事

器

双

・市
・炭

十
あ
の
石
板
の
事

雪

・市
・炭

廿
酒
の
事

盆

・市
・炭

酒

・市
・炭

火
取
の
事

・市
・炭

庚
の
事

白

・市
・炭

約
の
事

金

・市
・炭

寶
の
事

裏

・市
・炭

錦
木
の
事

・市
・炭

ア
ハ
ン
ト
思
ハ
ハ
リ
イ
レ
ヌ
ト
シ

衣服

・市
・炭

け
の
事

・市
・炭

山
の
事

言居加茂不活水 言居加茂不活水 かのー 言居加茂不活水 清ー 言居加茂不活水 初

猫ー 言居加茂不活水 花色ー 言居加茂不活水 初を深のー 言居加茂不活水

紫系花ね生電のー 言居加茂不活水 から草の如

志ほのー 言居加茂不活水 うす深ー 言居加茂不活水 花すす

志能ふのー 言居加茂不活水 山わきー 言居加茂不活水 山伏行人ニ云

心まはさー 言居加茂不活水 山わきー 言居加茂不活水 山伏行人ニ云

うけー 言居加茂不活水 波うらー 言居加茂不活水 塩うらー 言居加茂不活水

一 言居加茂不活水 あまー 言居加茂不活水 うー 言居加茂不活水 記ー 言居加茂不活水 あま

つ相乃ー 言居加茂不活水 蜂の洞ー 言居加茂不活水 記の記

みれあふー 言居加茂不活水 苔ー 言居加茂不活水 法のー 言居加茂不活水 麻

葛衣の表服ニ表服ハ綴ラヌ又ニ表服ハはつて 言居加茂不活水 海草ー 言居加茂不活水 あさき

皮きぬ 言居加茂不活水 桐麻をておるー

あふたー 言居加茂不活水 花のー 言居加茂不活水 記のー 言居加茂不活水 記のー 言居加茂不活水

毛ー 言居加茂不活水 記のー 言居加茂不活水 記のー 言居加茂不活水 記のー 言居加茂不活水

記のー 言居加茂不活水 記のー 言居加茂不活水 記のー 言居加茂不活水 記のー 言居加茂不活水

細猪・中の猪・犬その へいー へいーにきて猪よ づねー 吾乃

のー **△**あやほーおやろー 猪よ **■** 玉枝ー石のー 眼 めをら

ー ころめのー **■** 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

下のー **■** 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下

井手のー **■** 山 城 の ー 昔 イナカ久井テワタリニテ 意セラ

のー **■** 二 二 の 糸 を と ぞ う す ず る 意ニヤ

ひー **■** 故 する アレソレカハラズかことヨヨミアハスベシ

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

あー **■** 櫛 オル

欄 うし・山吹 **夏** 白きね・新萩・ひる竹・ひら **秋**

杜若・菖蒲 あしき・月乃桂のみ **冬** 枯竹・雪の音・秋草・萩

香 あま **雑** あまね・鳥 鳥 **香** あま **春** 梅 **夏** 梅 **秋**

香 あま **雑** あま **春** 梅 **夏** 梅 **秋**

香 あま **雑** あま **春** 梅 **夏** 梅 **秋**

香 あま **雑** あま **春** 梅 **夏** 梅 **秋**

香 あま **雑** あま **春** 梅 **夏** 梅 **秋**

玉のをなく
て白ひ

人物 王昭君 漢元帝 宮人 多クテ 画工ニウツサセテ 圖ヲミテカレントス

クキサニカケリ 後 胡国 宮中ツカセテ 昭君ニサダナリテ 帝ニイトニウツシテガリシテ

帝ノ見テ後悔ス 臣ヲトテ 胡ノ妻トナリ 都ヲ去テ オソク 琵琶ヲ弾メ 其恨ヲホ

サメリ 官守ともとより 何とたのまこ **上場** 唐玄宗ニツカヘテ 琵琶ヲ弾シガ 楊貴

六十三 独居又 白居易 上師人 若最 多 少 思 苦 老 亦 若 青 黛 画 眉 細 長 春 徒 秋 来 不 記 年 官 嘗 然 明 関 トル ヲ マリ

に 乃 之 つ き 乃 之 つ き 乃 之 つ き 乃 之 つ き 乃 之 つ き 乃 之 つ き 乃 之 つ き 乃 之 つ き

風 桃 李 在 湖 日 秋 露 梧 桐 葉 落 時 ト ヲ マリ 本 多 ち り 時 ト ヲ マリ 又 我 力 の 秋 を 走 ち り

魚ニ 其ノ 寸ノ 寸ノ

難波ヨメリ。難波ノ外ヨリ
カヌ。喪中ニカクルユナリ

子ノ 寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ 寸ノ

糸ノ 絶ル 寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ 寸ノ 寸ノ

草

木

寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ 寸ノ

草

寸ノ 寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ 寸ノ

木

寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ 寸ノ

寸ノ 寸ノ

後跋

辭不富也。章不の末而一節豈可立
教乎斯舉也。と燥吹。と士頓。得濡
筋。と流。難其為。緒也。素而其為。卷
也。簡善夫

安永丁酉望秋陰伴春溪書



安永六年丁酉仲秋

京

秋田屋平左衛門

書舖 大坂

吉文字屋市兵衛

小川屋六藏

藏山集

名所法心松

發行

和歌虛詞考 副出

逢原堂歌書藏板目錄

大坂追手筋錦町

小川屋六藏

古今榮雅抄

飛鳥井家雅鄉撰

十六冊

草菴集

頓阿法師家集

三冊

八代集抄

北村季吟撰

五十冊

同類題

小本

一冊

三代集抄

別發行

二十冊

同拾遺

小本

一冊

三玉集類題

松井幸隆著

七冊

同蒙求諺解

梅月堂著

十六冊

雪玉集類題

新板小本

三冊

藏山集

住吉宮奉納

一冊

名不虛傳

加藤景範録

一冊

和名は多くよむ所の名は各々合系物を
を志す一古名とあげたる今片断
中本あり

淡法堂

同撰

一冊

天象地儀神佛人事草木鳥獸虫魚衣
服器物の凡そよむ所の物の詞を
集めて部分けたり

虚詞考

同撰

二冊

分よむむ大くさつし中くつとをこ
まの作れんあさばとあつらへるは
分りてはとくくく

實踐集

同撰

近刻

此の名はついで淡法堂
の二部早く版木焼失

證歌集

同撰

近刻

今世は付少くこと少し
余は和名五月九州

新題百首

紫洲先生詠
竹山先生詠
竹里先生詠

近刻

地方遊歴し高島原の古を
具をよむておむ天章徴

山又

